様式２－３

品質証明チェックシート（出来形）

品質証明チェックシート(出来形)

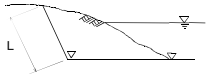
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:土工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
3 河川・海岸・砂防土工	2	1	掘削工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の測点毎。基準高は掘削部の両端で測定。		基準高 ▽		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						法長L	L＜5m	-200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							L≧5m	法長-4%	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

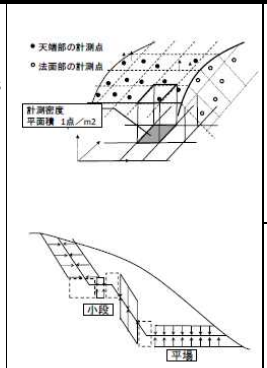
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：土工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
節	条	枝番													
3 河川・海岸・砂防土工	2	2	掘削工（面管理の場合）	1．3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」，「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、または「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき出来形管理を面管理で実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2．個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3．計測は平場面と法面（小段を含む）の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4．法肩、法尻から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5．評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。		平場：標高較差	平均値：±50 個々の計測値：±150	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						法面（小段含む）：水平または標高較差	平均値：±70 個々の計測値：±160	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
								日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:土工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
節	条	枝番													
3 河川・海岸・砂防土工	2	3	掘削工 (水中部) (面管理の場合)	1. 3次元データによる出来形管理において「音響測深機器を用いた出来形管理要領(河川浚渫)(案)」、「施工履歴ﾃﾞｰﾀを用いた出来形管理要領(河川浚渫工事編)(案)」に基づき出来形管理を面管理で実施する場合、 そのほか本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±100mmが含まれている。 3. 計測は平場面と法面の全面とし、すべての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点/m2(平面投影面積当たり)以上とする。		平場:標高較差	平均値:±70 個々の計算値:±300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						法面(小段含む): 水平または標高較差	平均値:±70 個々の計算値:±300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
								日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

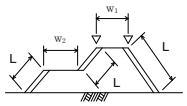
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:土工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
3 河川・海岸・砂防土工	3	1	盛土工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の測点毎。基準高は各法肩で測定。		基準高 ▽		-50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						法長L	L＜5m	-100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							L≧5m	法長-2%	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						幅 w1, w2		-100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

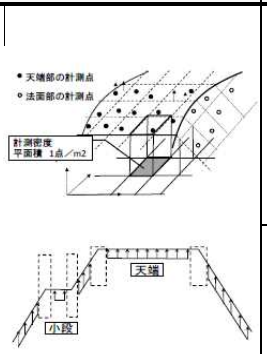
工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：土工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	チェック内容						備考
3 河川・海岸・砂防土工	3	2	盛土工（面管理の場合）	1．3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（ 土工編）（案）」、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき出来形管理を面管理で実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2．個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3．計測は天端面と法面（小段を含む）の全面とし、全ての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4．法肩、法尻から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。 5．評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。	天端：標高較差	平均値：−50 個々の計測値：−150	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所						
							コメント						
					法面　4割＜勾配：標高較差	平均値：−50 個々の計測値：−170	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所						
							コメント						
					法面　4割≧勾配（小段含む）：標高較差	平均値：−60 個々の計測値：−170	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所						
							コメント						
					※ただし、ここでの勾配は、鉛直方向の長さ1 に対する、水平方向の長さXをX割と表したもの								



品質証明チェックシート(出来形)

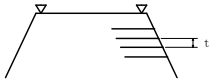
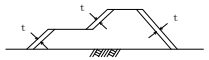
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:土工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 河川・海岸・砂防土工	4		盛土補強工(補強土(テールアルメ)壁工法)(多数アンカー式補強土工法)(ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚　さ t	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						控え長さ	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	5		法面整形工(盛土部)	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所、法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。		厚　さ t	※−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

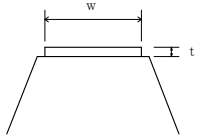
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:土工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
3 河川・海岸・砂防土工	6		堤防天端工	幅は、施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。厚さは、施工延長200mにつき1箇所、200m以下は2箇所、中央で測定。		厚さ t	t＜15cm	−25	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							t≧15cm	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						幅 w		−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

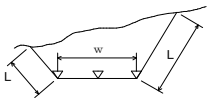
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:土工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
4 道路土工	2	1	掘削工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の測点毎。基準高は、道路中心線及び端部で測定。		基準高 ▽		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						法長 L	L＜5m	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							L≧5m	法長−4%	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						幅 w		−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

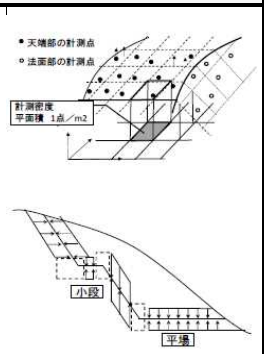
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：土工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	チェック内容						備考
4 道路土工	2	2	掘削工（面管理の場合）	1．3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（ 土工編）（案）」、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき出来形管理を面管理で実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2．個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3．計測は平場面と法面（小段を含む）の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4．法肩、法尻から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5．評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。		平場：標高較差	平均値：±50 個々の計測値：±150	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所						
							コメント						
					法面（小段含む）：水平または標高較差	平均値：±70 個々の計測値：±160	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所						
							コメント						
					法面（軟岩Ⅰ）（小段含む）：水平または標高較差	平均値：±70 個々の計測値：±330	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所						
							コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

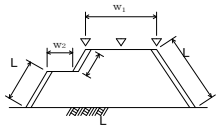
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：土工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
4 道路土工	3.4	1	路体盛土工 路床盛土工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の測点毎。基準高は、道路中心線及び端部で測定。		基準高 ▽		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						法長L	L＜5m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							L≧5m	法長−2%	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						幅 w1, w2		−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

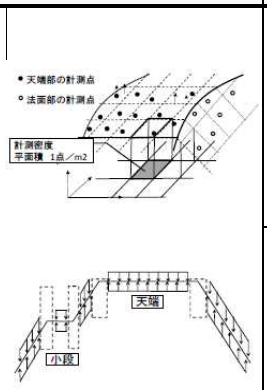
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：土工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	チェック内容						備考
4 道路土工	3.4	2	路体盛土工 路床盛土工 （面管理の場合）	1．3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」に基づき出来形管理を面管理で実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2．個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3．計測は天端面と法面（小段を含む）の全面とし、全ての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4．法肩、法尻から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。 5．評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。 	平場：標高較差	平均値：±50 個々の計測値：±150	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所						
							コメント						
					法面（小段含む）： 水平または標高較差	平均値：±80 個々の計測値：±190	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所						
							コメント						
							日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所						
							コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

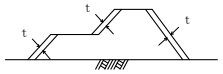
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：土工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
4 道路土工	5		法面整形工（盛土部）	施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。		厚　さ t	※-30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

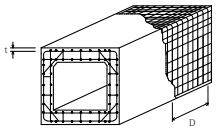
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:無筋・鉄筋コンクリート】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
7 鉄筋工	4		組立て	d=D/(n-1) D:n本間の延長 n:10本程度とする φ:鉄筋径 工事の規模に応じて、1リフト、1ロット当たりに対して各面で一箇所以上測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示方書(設計編:標準7編2章2.1)参照。ただし、道路橋示方書の適用を受ける橋については、道路橋示方書(Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編 5.2)による。 注1)重要構造物かつ主鉄筋について適用する。 注2)橋梁コンクリート床版桁(PC橋含む)の鉄筋については、第3編3-2-18-2床版工を適用する。 注3)新設のコンクリート構造物(橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート(工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外))の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する。		平均間隔d	±φ	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						かぶり t	±φかつ最小かぶり以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

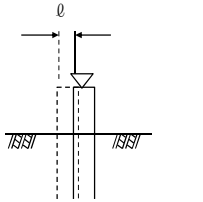
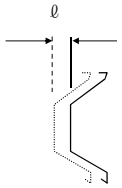
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
3 共通的工種	4		矢板工〔指定仮設・任意仮設は除く〕 （鋼矢板） （軽量鋼矢板） （コンクリート矢板） （広幅鋼矢板） （可とう鋼矢板）	基準高は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 変位は、施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						根入長	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						変位 ℓ	100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
	5		縁石工 （縁石・アスカーブ）	1箇所／1施工箇所 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」の規定により管理を行う場合は、延長の変化点で測定。		延長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

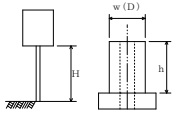
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	6		小型標識工	1箇所／1基		設置高さH		設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				基礎1基毎		基礎	幅 w （D）	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							高さ h	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							根入れ長	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

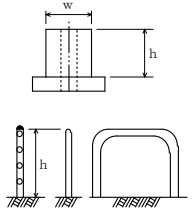
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	7		防止柵工（立入防止柵）（転落（横断）防止柵）（車止めポスト）	単独基礎10基につき1基、10基以下のものは2基測定。測定箇所は1基につき1箇所測定。		基礎	幅　w	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							高　さ h	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				1箇所／1施工箇所		パイプ取付高 H		+30 −20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

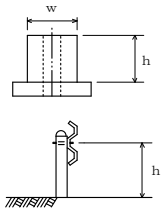
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	8	1	路側防護柵工（ガードレール）	1箇所／施工延長40m 40m以下のものは、2箇所／1施工箇所。		基礎	幅　w	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							高　さ h	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				1箇所／1施工箇所		ビーム取付高 H		+30 −20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

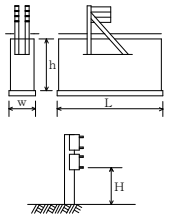
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	8	2	路側防護柵工（ガードケーブル）	1箇所／1基礎毎		基礎	幅　w	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							高　さ h	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							延　長 L	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				1箇所／1施工箇所		ケーブル取付高 H		+30 −20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

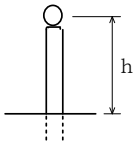
品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	9		区画線工	各線種毎に、1箇所テストピースにより測定。		厚　さ t（溶融式のみ）	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　　w	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	10		道路付属物工（視線誘導標）（距離標）	1箇所／10本 10本以下の場合は、2箇所測定。		高　さ h	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	11		コンクリート面塗装工	塗装系ごとの塗装面積を算出・照査して、各塗料の必要性を求め、塗付作業の開始前に搬入量（充缶数）と、塗付作業終了時に使用量（空缶数）を確認し、各々必要量以上であることを確認する。 1ロットの大きさは500m2とする。		塗装使用量	鋼道路橋塗装・腐食便覧Ⅱ-82「表-Ⅱ.5.5各塗料の標準使用量と標準塗膜厚」の標準使用量以上。	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

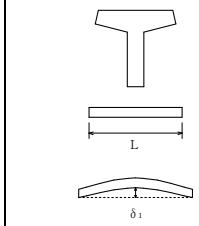
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	12	1	プレテンション桁製作工 (購入工) (けた橋)	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。		桁長 L(m)	±L／1000	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						断面の外形寸法	±5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						橋桁のそり δ_1	±8	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						横方向の曲がり δ_2	±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

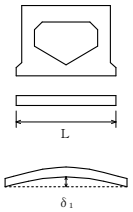
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	12	2	プレテンション桁製作工 (購入工) (スラブ桁)	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。		桁長 L(m)	±10…L≦10m ±L/1000…L>10m	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						断面の外形寸法	±5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						橋桁のそり δ_1	±8	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						横方向の曲がり δ_2	±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

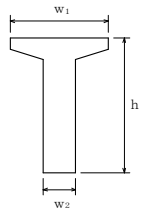
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
3 共通的工種	13	1	ポストテンション桁製作工	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。 ℓ:支間長(m) 注)新設のコンクリート構造物(橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート(工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外))の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する		幅(上)　w_1	+10 −5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						幅(下)　w_2	±5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						高　さ h	＋10 −5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						桁　長 ℓ 支間長	ℓ＜15…±10 ℓ≧15…±(ℓ−5) かつ −30mm以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						横方向最大タワミ	0.8ℓ	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	13	2	プレキャストセグメント製作工（購入工）	桁全数について測定。桁断面寸法測定箇所は、図面の寸法表示箇所で測定。		桁　長 ℓ	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						断面の外形寸法（mm）	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	14		プレキャストセグメント主桁組立工	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 ℓ：支間長（m）		桁　長 ℓ 支間長	ℓ＜15…±10 ℓ≧15…±（ℓ－5） かつ －30mm以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						横方向最大タワミ	0.8ℓ	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

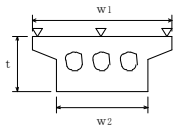
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
3 共通的工種	15		PCホロースラブ製作工	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所(支点付近)で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び厚さは1径間当たり両端と中央部の3箇所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編3-2-18-2床版工に準ずる。 ℓ:桁長(m) 注)新設のコンクリート構造物(橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート(工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外))の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する		基　準　高　▽	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						幅　w_1, w_2	−5～＋30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						厚　さ t	−10～＋20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						桁　長 ℓ	ℓ＜15…±10 ℓ≧15…±(ℓ−5) かつ −30mm以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

品質証明チェックシート(出来形)

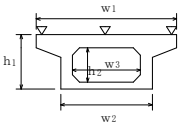
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	16	1	PC箱桁製作工	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所(支点付近)で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び厚さは1径間当たり両端と中央部の3箇所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編3-2-18-2床版工に準ずる。 ℓ:桁長(m) 注)新設のコンクリート構造物(橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート(工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外))の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する		基　準　高　▽	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅(上)　w_1	−5～＋30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅(下)　w_2	−5～＋30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						内空幅　w_3	±5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高　さ　h_1	＋10 −5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	16	1	PC箱桁製作工	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所(支点付近)で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び厚さは1径間当たり両端と中央部の3箇所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編3-2-18-2床版工に準ずる。 ℓ:桁長(m) 注)新設のコンクリート構造物(橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート(工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外))の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する		内空高さ h_2	＋10 －5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						桁　長 ℓ	ℓ＜15…±10 ℓ≧15…±(ℓ－5) かつ －30mm以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

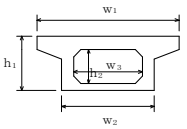
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
3 共通的工種	16	2	PC押出し箱桁製作工	桁全数について測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編3-2-18-2床版工に準ずる。 ℓ:桁長(m) 注)新設のコンクリート構造物(橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート(工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外))の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する		幅(上)　w_1	−5～＋30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						幅(下)　w_2	−5～＋30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						内 空 幅　w_3	±5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						高　さ h_1	+10 −5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						内空高さ h_2	＋10 −5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

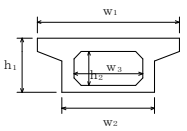
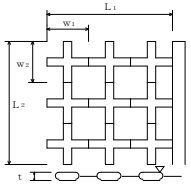
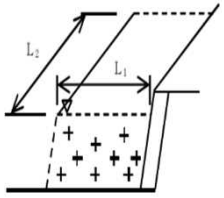
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	16	2	PC押出し箱桁製作工	桁全数について測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編3-2-18-2床版工に準ずる。 ℓ：桁長（m） 注）新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外））の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する		桁　長 ℓ		ℓ＜15…±10 ℓ≧15…±（ℓ－5） かつ －30mm以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
3 共通的工種	17		根固めブロック工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高▽	層　積	±100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						基準高▽	乱　積	±t/2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				幅、厚さは40個につき1箇所測定。	 tは根固めブロックの高さ	厚さ t	層　積	-20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

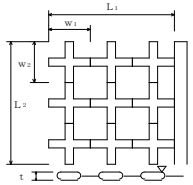
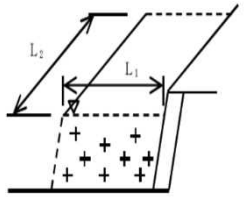
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	17		根固めブロック工	幅、厚さは40個につき1箇所測定。		幅 W1 W2	層　積	-20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							乱　積	-t/2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				1施工箇所毎	 tは根固めブロックの高さ	延長 L1 L2	層　積	-200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							乱　積	-t/2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

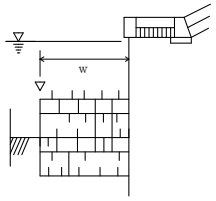
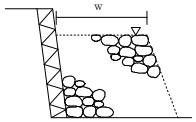
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	18		沈床工	1組毎		基準高 ▽	±150	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　w	±300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	19		捨石工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　w	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

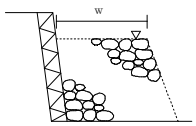
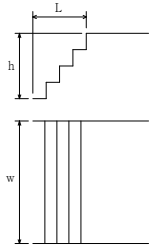
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	19		捨石工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	22		階段工	1回／1施工箇所		幅　w	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高　さ h	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						長　さ L	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						段　数	±0段	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

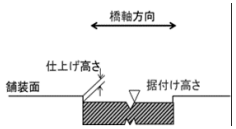
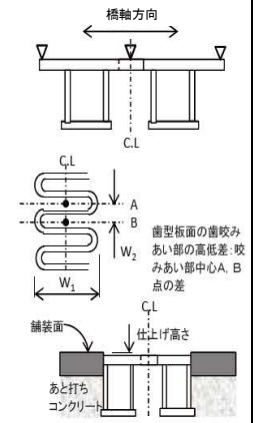
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	24	1	伸縮装置工（ゴムジョイント）	高さについては車道端部及び中央部の3点 表面の凹凸は長手方向（橋軸直角方向）に3mの直線定規で測って凹凸が3mm以下		据付け高さ		±3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						表面の凹凸		3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						仕上げ高さ		舗装面に対し 0～－2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
		2	伸縮装置工（鋼製フィンガージョイント）	高さについては車道端部、中央部において橋軸方向に各3点計9点 表面の凹凸は長手方向（橋軸直角方向）に3mの直線定規で測って凹凸が3mm以下 歯咬み合い部は車道端部、中央部の計3点		高さ	据付け高さ	±3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						高さ	橋軸方向各点誤差の相対差	3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

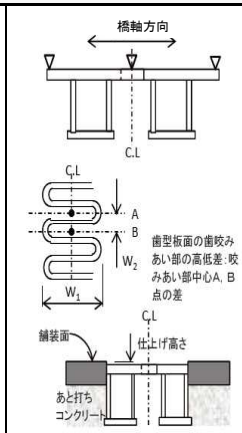
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
3 共通的工種	24	2	伸縮装置工（鋼製フィンガージョイント）	高さについては車道端部、中央部において橋軸方向に各3点計9点 表面の凹凸は長手方向(橋軸直角方向)に3mの直線定規で測って凹凸が3mm以下 歯咬み合い部は車道端部、中央部の計3点		表面の凹凸	3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						歯型板面の歯咬み合い部の高低差	2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						歯咬み合い部の縦方向間隔 W_1	±2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						歯咬み合い部の横方向間隔 W2	±5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						仕上げ高さ	舗装面に対し 0～－2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

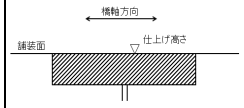
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	24	3	伸縮装置工（埋設型ジョイント）	高さについては車道端部、中央部において橋軸方向に各3点計9点 表面の凹凸は長手方向(橋軸直角方向)に3mの直線定規で測って凹凸が3mm以下 歯咬み合い部は車道端部、中央部の計3点		表面の凹凸	3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						仕上げ高さ	舗装面に対し 0～＋3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

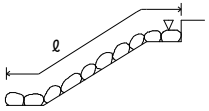
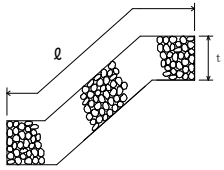
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	26	1	多自然型護岸工（巨石張り、巨石積み）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		基準高 ▽	±500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						法　長 ℓ	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
		2	多自然型護岸工（かごマット）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		法　長 ℓ	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚　さ t	−0.2t	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

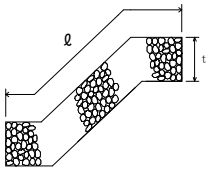
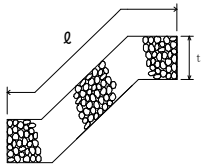
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	26	2	多自然型護岸工 (かごマット)	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		延　長 L		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
	27	1	羽口工 (じゃかご)	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		法長ℓ	ℓ＜3m	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							ℓ≧3m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						厚　さ t		−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

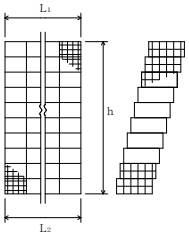
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	27	2	羽口工(ふとんかご、かご枠)	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		高　さ h	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延 長 L_1, L_2	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

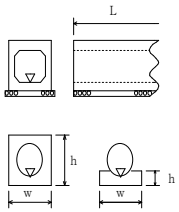
品質証明チェックシート(出来形)

(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
3 共通的工種	28		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックスエ) (プレキャストパイプエ)	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、施工延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 ※印は、現場打部分のある場合。		基準高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						※幅　w	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						※高　さ h	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				1施工箇所毎		延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

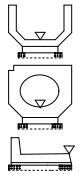
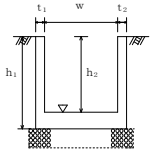
品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
3 共通的工種	29	1	側溝工（プレキャストU型側溝）（L型側溝工）（自由勾配側溝）（管渠）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		基準高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
				1箇所／1施工箇所 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」の規定により管理を行う場合は、延長の変化点で測定。		延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
		2	側溝工（現場打水路工）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、施工延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						厚さ t_1, t_2	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

品質証明チェックシート(出来形)

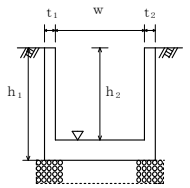
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	29	2	側溝工(現場打水路工)	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、施工延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		幅　w	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高さ h_1, h_2	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				1施工箇所毎		延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

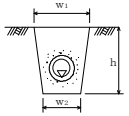
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	29	3	側溝工（暗渠工）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所。 延長40m（又は50m）以下のものは1施工につき2箇所。 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		基準高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅 w_1, w_2	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						深　さ h	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				1施工箇所毎 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」の規定により管理を行う場合は、延長の変化点で測定。		延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

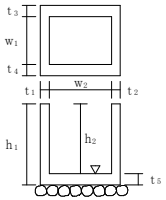
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 共通的工種	30		集水桝工	1箇所毎 ※は、現場打部分のある場合		基準高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						※厚さ t_1～t_5	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						※幅 w_1, w_2	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						※高さ h_1, h_2	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
3 共通的工種	31		現場塗装工	塗装終了時に測定。 1ロットの大きさは500㎡とする。 1ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。 ただし、1ロットの面積が200m2に満たない場合は10m2ごとに1点とする。		塗膜厚	a. ロットの塗膜厚平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。 b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。 c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%以下。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

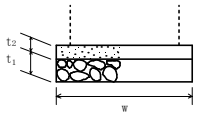
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
4 基礎工	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		幅　　w	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚さ t1 , t2	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　　長 L	各構造物の規格値による	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

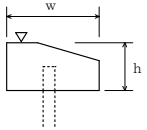
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
4 基礎工	3	1	基礎工(護岸)(現場打)	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(護岸工編)(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		基準高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　w	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高　さ h	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

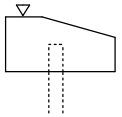
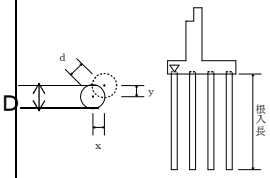
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
4 基礎工	3	2	基礎工（護岸）（プレキャスト）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（護岸工編）（案）」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		基準高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	4	1	既製杭工（既製コンクリート杭）（鋼管杭）（H鋼杭）	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	基準高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						根　入　長	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

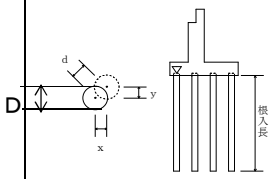
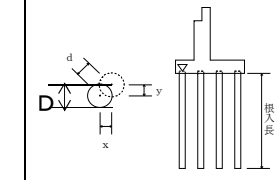
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
4 基礎工	4	1	既製杭工（既製コンクリート杭）（鋼管杭）（H鋼杭）	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	偏心量 d	D/4以内 かつ100以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						傾斜	1／100以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
		2	既製杭工（鋼管ソイルセメント杭）	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	基準高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						根入長	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

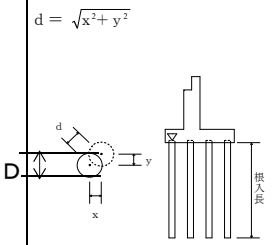
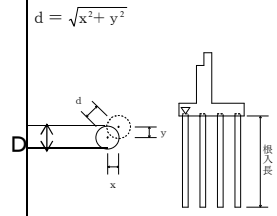
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
4 基礎工	4	2	既製杭工（鋼管ソイルセメント杭）	全数について杭中心で測定。		偏心量 d	100以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						傾斜	1／100以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						杭径 D	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
4 基礎工	5		場所打杭工	全数について杭中心で測定。		基準高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						根入長	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

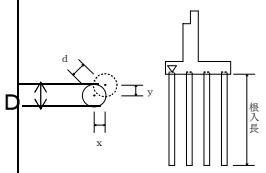
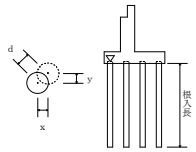
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
4 基礎工	5		場所打杭工	全数について杭中心で測定。	$d=\sqrt{x^2+y^2}$ 	偏心量 d	100以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						傾斜	1／100以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						杭径 D	設計値（公称径）−30以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	6		深礎工	全数について杭中心で測定。	$d=\sqrt{x^2+y^2}$ 	基準高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						根入長	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

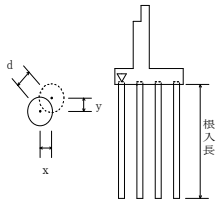
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
4 基礎工	6		深礎工	全数について杭中心で測定。 ※ﾗｲﾅｰﾌﾟﾚｰﾄの場合はその内径、補強ﾘﾝｸﾞを必要とする場合は補強ﾘﾝｸﾞの内径とし、ﾓﾙﾀﾙﾗｲﾆﾝｸﾞの場合はモルタル等の土留め構造の内径にて測定。	$d=\sqrt{x^2+y^2}$ 	偏心量 d	150以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						傾斜	1／50以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						基礎径 D	設計径（公称径）以上※	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

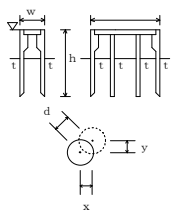
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
	7		オープンケーソン基礎工	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	基 準 高 ▽	±100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						ケーソンの長さ ℓ	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						ケーソンの幅 w	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

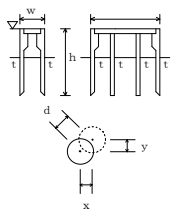
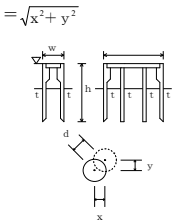
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
4 基礎工	7		オープンケーソン基礎工	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については各打設ロットごとに測定。	$d=\sqrt{x^2+y^2}$ 	ケーソンの高さ h	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						ケーソンの壁厚 t	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						偏 心 量 d	300以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	8		ニューマチックケーソン基礎工	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については各打設ロットごとに測定。	$d=\sqrt{x^2+y^2}$ 	基 準 高 ▽	±100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						ケーソンの長さ ℓ	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

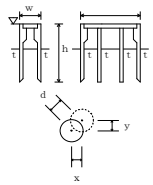
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
4 基礎工	8		ニューマチックケーソン基礎工	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については各打設ロットごとに測定。	$d=\sqrt{x^2+y^2}$ 	ケーソンの幅 w	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						ケーソンの高さ h	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						ケーソンの壁厚 t	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						偏 心 量 d	300以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

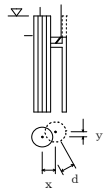
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
4 基礎工	9		鋼管矢板基礎工	基準高は、全数を測定。 偏心量は、1基ごとに測定。	$d=\sqrt{x^2+y^2}$ 	基準高 ▽	±100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						根入長	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						偏心量 d	300以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

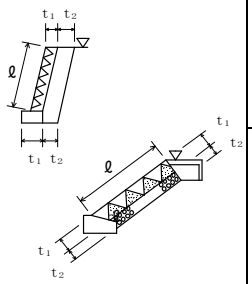
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
5 石・ブロック積（張）工	3	1	コンクリートブロック工（コンクリートブロック積）（コンクリートブロック張り）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。厚さは上端部及び下端部の2箇所を測定。 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（護岸工編）（案）」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		基準高 ▽		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						法長ℓ	ℓ＜3m	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							ℓ≧3m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						厚さ（ブロック積張）t1		−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						厚さ（裏込）t2		−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

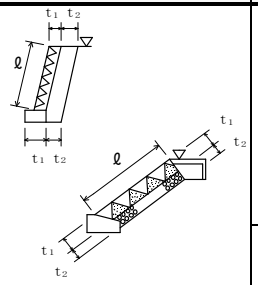
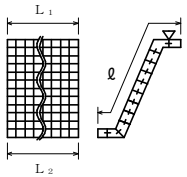
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
5 石・ブロック積（張）工	3	1	コンクリートブロック工（コンクリートブロック積）（コンクリートブロック張り）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。厚さは上端部及び下端部の2箇所を測定。「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（護岸工編）（案）」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
		2	コンクリートブロック工（連節ブロック張り）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（護岸工編）（案）」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		基 準 高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						法　長 ℓ	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延長 L1,L2	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

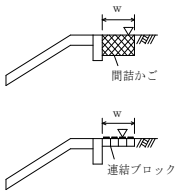
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
5 石・ブロック積（張）工	3	3	コンクリートブロック工（天端保護ブロック）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（護岸工編）（案）」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		基準高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　w	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

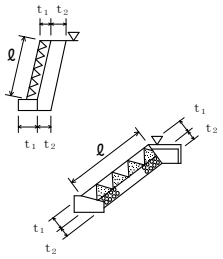
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
5 石・ブロック積（張）工	4		緑化ブロック工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。厚さは上端部及び下端部の2箇所を測定。 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（護岸工編）（案）」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		基準高 ▽		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						法長 ℓ	ℓ＜3m	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							ℓ≧3m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						厚さ（ブロック）t1		−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						厚さ（裏込）t2		−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

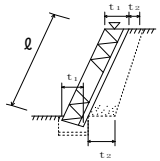
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
5 石・ブロック積（張）工	4		緑化ブロック工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。厚さは上端部及び下端部の2箇所を測定。 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（護岸工編）（案）」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		延　長 L		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
	5		石積（張）工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。厚さは上端部及び下端部の2箇所を測定。 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（護岸工編）（案）」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		基 準 高 ▽		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						法長 ℓ	ℓ＜3m	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							ℓ≧3m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						厚さ（石積・張）t1		−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

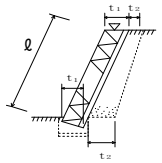
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
5 石・ブロック積（張）工	5		石積（張）工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。厚さは上端部及び下端部の2箇所を測定。 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（護岸工編）（案）」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		厚さ（裏込）t2	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	7	1	アスファルト舗装工（下層路盤工）	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m2以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいづれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満。 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	基準高 ▽	±40	±50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						厚　さ	−45	−45	−15	−15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−50	−50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		2	アスファルト舗装工（下層路盤工） （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m2以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満	基準高 ▽ ＊面管理の場合は測定値の平均	±90	±90	+40 −15	+50 −15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	±90	±90	+40 −15	+50 −15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:	品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	7	3	アスファルト舗装工（上層路盤工）粒度調整路盤工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下幅 の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m2以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいづれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満。 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	厚　さ	−25	−30	−8	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−50	−50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		4	アスファルト舗装工（上層路盤工）粒度調整路盤工 （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m2以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−54	−63	−8	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	7	5	アスファルト舗装工（上層路盤工）セメント（石灰）安定処理工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m2以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満。 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	厚　さ	−25	−30	−8	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−50	−50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		6	アスファルト舗装工（上層路盤工）セメント（石灰）安定処理工 （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m2以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−54	−63	−8	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均(X10) 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	7	7	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m2以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満。 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	厚　さ	−15	−20	−5	−7	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−50	−50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		8	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工) (面管理の場合)	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」または「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m2以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−36	−45	−5	−7	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	7	9	アスファルト舗装工（基層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m2以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいづれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満。 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。 ~~維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。~~	厚　さ	−9	−12	−3	−4	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−25	−25	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
	10		アスファルト舗装工（基層工） （面管理の場合）	1．3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2．個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3．計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4．厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5．厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m2以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−20	−25	−3	−4	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	7	11	アスファルト舗装工（表層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m2以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	厚　さ	−7	−9	−2	−3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−25	−25	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						平坦性	—		3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ（σ）2.4mm以下 直読式（足付き）（σ）1.75mm以下		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		12	アスファルト舗装工（表層工） （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m2以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で2,000m2以上10,000m2未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−17	−20	−2	−3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						平坦性	—		3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ（σ）2.4mm以下 直読式（足付き）（σ）1.75mm以下		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	8	1	半たわみ性舗装工（下層路盤工）	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	基準高 ▽	±40	±50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						厚　さ	−45	−45	−15	−15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−50	−50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		2	半たわみ性舗装工（下層路盤工） （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	基準高 ▽ ＊面管理の場合は測定値の平均	±90	±90	＋40 −15	＋50 −15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	±90	±90	＋40 −15	＋50 −15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均(X10) 小規模以下	チェック内容							備考
		3	半たわみ性舗装工(上層路盤工)粒度調整路盤工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	厚さ	−25	−30	−8	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−50	−50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		4	半たわみ性舗装工(上層路盤工)粒度調整路盤工 (面管理の場合)	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」または「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−54	−63	−8	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	8	5	半たわみ性舗装工（上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 ~~維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。~~	厚　さ	−25	−30	−8	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−50	−50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		6	半たわみ性舗装工（上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工 （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−54	−63	−8	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均(X10) 小規模以下	チェック内容							備考
		7	半たわみ性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 ~~維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。~~	厚　さ	-15	-20	-5	-7	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	-50	-50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		8	半たわみ性舗装工(加熱アスファルト安定処理工) (面管理の場合)	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」または「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	-36	-45	-5	-7	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均(X10) 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	8	9	半たわみ性舗装工(基層工)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。 ~~維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。~~	厚　さ	-9	-12	-3	-4	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	-25	-25	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		10	半たわみ性舗装工(基層工) (面管理の場合)	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」または「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	-20	-25	-3	-4	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	8	11	半たわみ性舗装工（表層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡毎に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	厚　さ	−7	−9	−2	−3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−25	−25	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						平 坦 性	—		3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ（σ）2.4mm以下 直読式		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									(足付き)（σ）1.75mm以下		確認箇所							
											コメント							
		12	半たわみ性舗装工（基層工） （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−17	−20	−2	−3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						平坦性	—		3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ（σ）2.4mm以下 直読式		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									(足付き)（σ）1.75mm以下		確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	9	1	排水性舗装工（下層路盤工）	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。	基準高 ▽	±40	±50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						厚　さ	−45	−45	−15	−15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−50	−50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		2	排水性舗装工（下層路盤工） （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	基準高 ▽ ＊面管理の場合は測定値の平均	±90	±90	+40 −15	+50 −15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	±90	±90	+40 −15	+50 −15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	9	3	排水性舗装工（上層路盤工）粒度調整路盤工	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	厚　さ	−25	−30	−8	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−50	−50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		4	排水性舗装工（上層路盤工）粒度調整路盤工 （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−54	−63	−8	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	9	5	排水性舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。	厚　さ	−25	−30	−8	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−50	−50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		6	排水性舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工 （面管理の場合）	1．3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2．個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3．計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4．厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5．厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−54	−63	−8	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											195:200							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均(X10) 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	9	7	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	厚　さ	−15	−20	−5	−7	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−50	−50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		8	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工) (面管理の場合)	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」または「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−36	−45	−5	−7	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均(X10) 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	9	9	排水性舗装工 (基層工)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。	厚　さ	-9	-12	-3	-4	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	-25	-25	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		10	排水性舗装工 (基層工) (面管理の場合)	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」または「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	-20	-25	-3	-4	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	9	11	排水性舗装工（表層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡毎に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	厚　さ	−7	−9	−2	−3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−25	−25	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						平 坦 性	—		3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ（σ）2.4mm以下 直読式		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									(足付き)（σ）1.75mm以下		確認箇所							
											コメント							
		12	排水性舗装工（表層工） （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−17	−20	−2	−3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						平 坦 性	—		3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ（σ）2.4mm以下 直読式		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									(足付き)（σ）1.75mm以下		確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	10	1	透水性舗装工（路盤工）	基準高は片側延長40m毎に1箇所の割で測定。 厚さは、片側延長200m毎に1箇所掘り起こして測定。 幅は、片側延長80m毎に1箇所測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。 ※歩道舗装に適用する。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	基準高 ▽	±50		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						厚　さ	t＜15cm	−30	−10		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
							t≧15cm	−45	−15		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−100		—		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	10	2	排水性舗装工（路盤工）（面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。 ※歩道舗装に適用する。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	基準高▽ ＊面管理の場合は測定値の平均	t＜15cm	+90 −70	+50 −10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
							t≧15cm	±90	+50 −15		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	t＜15cm	+90 −70	+50 −10		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
							t≧15cm	±90	+50 −15		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均(X10) 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	10	3	透水性舗装工 (表層工)	幅は、片側延長80m毎に1箇所の割で測定。 厚さは、片側延長200m毎に1箇所コアーを採取して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。 ※歩道舗装に適用する。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	厚 さ t	−9		−3		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅 w	−25		—		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		4	透水性舗装工 (表層工) (面管理の場合)	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」または「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。 ※歩道舗装に適用する。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−20		−3		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	11	1	グースアスファルト舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。	厚　さ	−15	−20	−5	−7	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−50	−50	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		2	グースアスファルト舗装工（加熱アスファルト安定処理工） （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−36	−45	−5	−7	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	11	3	グースアスファルト舗装工（基層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	厚　さ	−9	−12	−3	−4	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−25	−25	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		4	グースアスファルト舗装工（基層工） （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−20	−25	−3	−4	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	規格値 10個の測定値の平均（X10） 小規模以下	チェック内容							備考
6 一般舗装工	11	5	グースアスファルト舗装工（表層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡毎に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	厚　さ	−7	−9	−2	−3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−25	−25	—	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						平 坦 性	—		3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ（σ）2.4mm以下 直読式（足付き）（σ）1.75mm以下		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
6 一般舗装工	11	6	グースアスファルト舗装工（表層工） （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−17	−20	−2	−3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						平坦性	—		3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ（σ）2.4mm以下 直読式（足付き）（σ）1.75mm以下		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア一採取について 橋面舗装等でコア一採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。	基準高 ▽	±40	±50	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						厚　さ	−45		−15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上		チェック内容							備考
6 一般舗装工	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア一採取について 橋面舗装等でコア一採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。	幅	−50		—		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
											日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		2	コンクリート舗装工 (下層路盤工) (面管理の場合)	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」または「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。	基準高▽ ＊面管理の場合は測定値の平均	±90	±90	+40 −15	+50 −15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	±90	±90	+40 −15	+50 −15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	12	3	コンクリート舗装工（粒度調整路盤工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。		厚　さ	−25	−30	−8	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	−50		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
		4	コンクリート舗装工（粒度調整路盤工） （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 　小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−55	−66	−8	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
										日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	12	5	コンクリート舗装工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によ	厚　さ	−25	−30	−8	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	−50		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
		6	コンクリート舗装工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工) (面管理の場合)	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」または「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−55	−66	−8	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
										日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	12	7	コンクリート舗装工(アスファルト中間層)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	厚　さ	-9	-12	-3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	-25		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
		8	コンクリート舗装工(アスファルト中間層) (面管理の場合)	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」または「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	-20	-27	-3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
										日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	12	9	コンクリート舗装工（コンクリート舗装版工）	厚さは各車線の中心付近で型枠据付後各車線200m毎に水糸又はレベルにより1測線当たり横断方向に3箇所以上測定、幅は、延長80m毎に1箇所の割で測定。平坦性は各車線毎に版縁から1ｍの線上、全延長とする。なお、スリップフォーム工法の場合は、厚さ管理に関し、打設前に各車線の中心付近で各車線200m毎に水糸又はレベルにより1測線当たり横断方向に3ヶ所以上路盤の基準高を測定し、測定打設後に各車線200m毎に両側の版端を測定する。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	厚　さ	−10		−3.5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	−25		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						平坦性	—		コンクリートの硬化後3mプロフィルメーターにより機械舗設の場合（σ）2.4mm以下 人力舗設の場合（σ）3mm以下	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
				隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。		目地段差	±2			日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	12	10	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工) (面管理の場合)	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」または「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−22		−3.5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						平坦性	—		コンクリートの硬化後3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰにより機械舗設の場合(σ)2.4mm以下 人力舗設の場合(σ)3mm以下	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
				隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。		目地段差	±2			日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上		チェック内容							備考
6 一般舗装工	12	11	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）下層路盤工	基準高は、延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	基準高 ▽	±40	±50	—		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						厚　さ	−45		−15		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅	−50		—		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
		12	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）下層路盤工 （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。	基準高 ▽ ＊面管理の場合は測定値の平均	±90	±90	＋40 −15	＋50 −15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	±90	±90	＋40 −15	＋50 −15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	12	13	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）粒度調整路盤工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	厚　さ	−25	−30	−8	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	−50		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
		14	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）粒度調整路盤工 （面管理の場合）	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−55	−66	−8	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
										日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	12	15	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは、掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。	厚　さ	−25	−30	−8	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	−50		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
		16	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工 (面管理の場合)	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」または「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−55	−66	−8	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
										日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	12	17	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）アスファルト中間層	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。	厚　さ	−9	−12	−3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	−25		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
		18	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）アスファルト中間層 （面管理の場合）	1．3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」または「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2．個々の計測値の規格値には計測精度として±10㎜が含まれている。 3．計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。 4．厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5．厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−20	−27	−3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
										日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	12	19	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	厚さは、各車線の中心付近で型枠据付後各車線200m毎に水糸又はレベルにより1測線当たり横断方向に3箇所以上測定、幅は、延長80m毎に1箇所の割で測定、平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80m以下の間隔で測定することができる。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア一採取について 橋面舗装等でコア一採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	厚　さ	−15		−4.5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	−35		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						平坦性	—		転圧コンクリートの硬化後、3mプロフィルメーターにより(σ)2.4mm以下。	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
				隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。		目地段差	±2			日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	12	20	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) (面管理の場合)	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」または「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ＋直下層の標高較差平均値＋設計厚さから求まる高さとの差とする。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−32		−4.5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						平坦性	—		転圧コンクリートの硬化後、3mプロフィルメーターにより(σ)2.4mm以下	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
				隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。		目地段差	±2			日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	基準高は、延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	基準高 ▽	±40	±50	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						厚　さ	−45		−15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	基準高は、延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	幅	−50		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
		2	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。		厚　さ	−25	−30	−8	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	−50		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:	品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	13	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。	厚　さ	−25	−30	−8	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	−50		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
		4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		厚　さ	−15	−20	−5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	−50		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	13	5	薄層カラー舗装工（基層工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。	厚　さ	−9	−12	−3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	−25		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
6 一般舗装工	14	1	ブロック舗装工（下層路盤工）	基準高は、延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	基準高 ▽	±40	±50	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						厚　さ	−45		−15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	14	1	ブロック舗装工（下層路盤工）	基準高は、延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長80m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	幅	−50		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
		2	ブロック舗装工（上層路盤工）粒度調整路盤工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線200m毎に1箇所を掘り起こして測定。		厚　さ	−25	−30	−8	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	−50		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X） 中規模以上	規格値 個々の測定値（X） 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均（X10） 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	14	3	ブロック舗装工（上層路盤工）セメント（石灰）安定処理工	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値（X10）について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	厚　さ	−25	−30	−8	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	−50		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
		4	ブロック舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		厚　さ	−15	−20	−5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	−50		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X) 中規模以上	規格値 個々の測定値(X) 小規模以下	規格値 10個の測定値の平均(X10) 中規模以上	チェック内容							備考
6 一般舗装工	14	5	ブロック舗装工 (基層工)	幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X10)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	厚　さ	-9	-12	-3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						幅	-25		—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

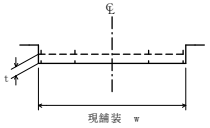
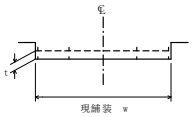
品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X）	規格値 10個の測定値の平均（X10）	チェック内容							備考
6 一般舗装工	15	1	路面切削工	厚さは40m毎に現舗装高切削後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 延長40m未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることができる。 測定方法は自動横断測定法によることができる。		厚 さ t	−7	−2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						幅　w	−25	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
6 一般舗装工	15	2	路面切削工（面管理の場合） 標高較差または厚さｔのみ	1．施工履歴データを用いた出来形管理要領（案）（路面切削工編）に基づき出来形管理を実施する場合に適用する。 2．計測は切削面の全面とし、すべての点で設計面との厚さt または標高較差を算出する。計測密度は1点/m2（平面投影面積当たり）以上とする。 3．厚さt または標高較差は、現舗装高切削後の基準高との差で算出する。 4．幅は、延長40m毎に測定するものとし、延長40m 未満の場合は、2 箇所／施工箇所とする。		厚 さ t（標高較差）	−17 (17) （面管理として緩和）	−2 (2)	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						幅　w	−25	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

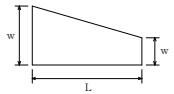
品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値 個々の測定値（X）	規格値 10個の測定値の平均（X10）	チェック内容							備考
6 一般舗装工	16		舗装打換え工	各層毎1箇所／1施工箇所		路盤工	幅 w	−50		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
							延長 L	−100		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

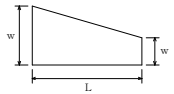
品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値 個々の測定値（X）	規格値 10個の測定値の平均（X10）	チェック内容							備考
6 一般舗装工	16		舗装打換え工	各層毎1箇所／1施工箇所		路盤工	厚さt	該当工種		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						舗設工	幅w	−25		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
							延長L	−100		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
							厚さt	該当工種		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

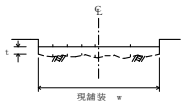
品質証明チェックシート（出来形）　（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値（X）	規格値 10個の測定値の平均（X10）	チェック内容							備考
6 一般舗装工	17	1	オーバーレイ工	厚さは40m毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、延長80m未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることができる。		厚 さ t	−9		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						幅　w	−25		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						延 長 L	−100		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						平 坦 性	—	3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ（σ）2.4mm以下 直読式(足付き)(σ)1.75mm以下	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)　　(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X)	規格値 10個の測定値の平均(X10)	チェック内容							備考
6 一般舗装工	17	2	オーバーレイ工 (面管理の場合)	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」または「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点／m2(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、施工前の標高値とオーバーレイ後の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、オーバーレイ後の目標高さとオーバーレイ後の標高値との差で算出する。		厚さあるいは標高較差 ＊面管理の場合は測定値の平均	−20	−3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						平 坦 性	—	3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ(σ)2.4mm以下 直読式(足付き)(σ)1.75mm以下	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

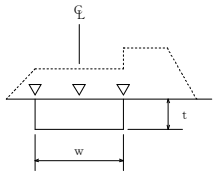
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
7 地盤改良工	2		路床安定処理工	延長40m毎に1箇所の割で測定。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。 厚さは中心線及び端部で測定。 「施工履歴データを用いた出来形管理要領（表層安定処理等・中層地盤改良工事編）（案）」による管理の場合は、全体改良範囲図を用いて、施工厚さt、天端幅w、天端延長Lを確認（実測は不要）。		基 準 高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						施工厚さ t	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						幅 w	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						延 長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

品質証明チェックシート(出来形)

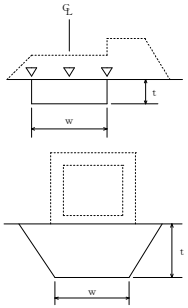
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
7 地盤改良工	3		置換工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 厚さは中心線及び端部で測定。		基 準 高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						置換厚さ t	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						幅 w	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						延 長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

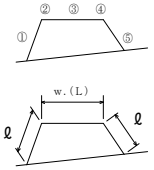
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
7 地盤改良工	4	1	表層安定処理工（サンドマット海上）	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。		基 準 高 ▽	特記仕様書に明示	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						法　長 ℓ	−500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				w.（L）は施工延長40mにつき1箇所、80m以下のものは1施工箇所につき3箇所。 （L）はセンターライン及び表裏法肩で行う。		天 端 幅 w	−300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						天端延長　L	−500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

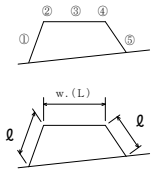
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
7 地盤改良工	4	2	表層安定処理工 (ICT施工の場合)	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。		基 準 高 ▽	特記仕様書に明示	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						法　長 ℓ	−500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				「施工履歴データを用いた出来形管理要領（表層安定処理・中層地盤改良工事編）（案）」に記載の全体改良平面図を用いて天端幅w、天端延長Lを確認（実測は不要）		天 端 幅 w	−300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						天端延長　L	−500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

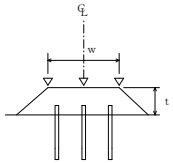
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
7 地盤改良工	5		パイルネット工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。 杭については、当該杭の項目に準ずる。		基準高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚　さ t	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　　w	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

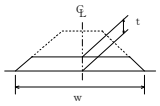
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
7 地盤改良工	6		サンドマット工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。		施工厚さ　t	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　　w	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　　長　L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

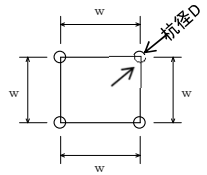
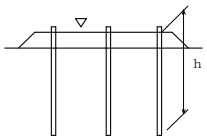
品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
7 地盤改良工	7・8		パーチカルドレーン工（サンドドレーン工）（ペーパードレーン工）（袋詰式サンドドレーン工） 締固め改良工（サンドコンパクションパイル工）	100本に1箇所。 100本以下は2箇所測定。1箇所に4本測定。 ただし、ペーパードレーンの杭径は対象外とする。		位置・間隔 w	±100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						杭　径 D	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
								日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
				全本数		打 込 長 さ h	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
				全本数 計器管理にかえることができる。	※余長は、適用除外	サンドドレーン、袋詰式サンドドレーン、サンドコンパクションパイルの砂投入量	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

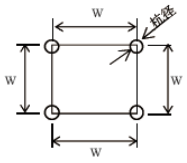
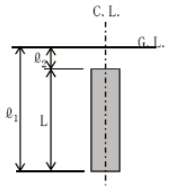
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
7 地盤改良工	9	1	固結工（粉体噴射撹拌工）（高圧噴射撹拌工）（スラリー撹拌工）（生石灰パイル工）	100本に1箇所。 100本以下は2箇所測定。 1箇所に4本測定。		基準高 ▽	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						位置・間隔w	D/4以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						杭　径 D	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
				全本数 L=ℓ1−ℓ2 ℓ1は改良体先端深度 ℓ2は改良端天端深度		深　度 L	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

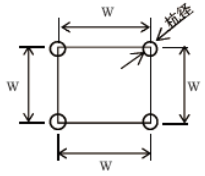
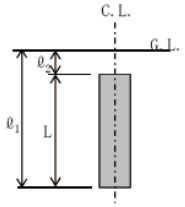
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
7 地盤改良工	9	2	固結工（スラリー撹拌工）「施工履歴データを用いた出来形管理要領（固結工（スラリー撹拌工）編）（案）」による管理の場合	杭芯位置管理表により基準高を確認		基準高 ▽	0以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				全本数 施工履歴データから作成した杭芯位置管理表により設計杭芯位置と施工した杭芯位置との距離を確認 （掘起しによる実測確認は不要）		位置	D/8以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				工事毎に1回 施工前の撹拌翼の寸法実測により確認 （掘起しによる実測確認は不要）		杭　径 D	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				全本数 施工履歴データから作成した杭打設結果表により確認 （残尺計測による確認は不要）		改良長 L	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

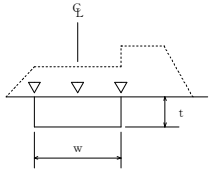
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
7 地盤改良工	9	3	固結工(中層混合処理)	1,000m3～4,000m3につき1ヶ所、又は施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所。 1,000m3以下、又は施工延長40m(50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 施工厚さは施工時の改良深度確認を出来形とする。 「施工履歴データを用いた出来形管理要領(表層安定処理等・中層地盤改良工事編)(案)」による管理の場合は、全体改良範囲図を用いて、施工厚さt、幅w、延長Lを確認(実測は不要)。		基準高 ▽	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						施工厚さ t	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						幅 w	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						延 長 L	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

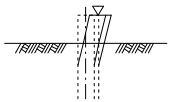
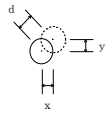
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
10 仮設工	5	1	土留・仮締切工 （H鋼杭） （鋼矢板）	基準高は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所。延長40m（又は50m）以下のものは、1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽	±100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						根入長	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
		2	土留・仮締切工 （アンカー工）	全数	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	削孔深さℓ	設計深さ以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						配置誤差 d	100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

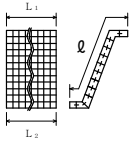
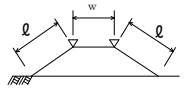
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
10 仮設工	5	3	土留・仮締切工（連節ブロック張り工）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		法　長 ℓ	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				1施工箇所毎		延長 L1 L2	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
		4	土留・仮締切工（締切盛土）	施工延長50mにつき1箇所。延長50m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基 準 高 ▽	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						天 端 幅 w	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

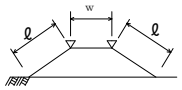
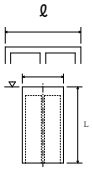
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
10 仮設工	5	4	土留・仮締切工（締切盛土）	施工延長50mにつき1箇所。延長50m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		法　長 ℓ	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
		5	土留・仮締切工（中詰盛土）	施工延長50mにつき1箇所。延長50m以下のものは、1施工箇所につき2箇所。		基 準 高 ▽	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	9		地中連続壁工（壁式）	基準高は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所。延長40m（又は50m）以下のものについては1施工箇所につき2箇所。 変位は施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所。延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基 準 高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						連壁の長さ ℓ	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

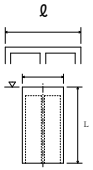
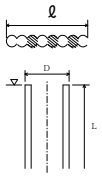
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
10 仮設工	9		地中連続壁工（壁式）	基準高は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所。延長40m（又は50m）以下のものについては1施工箇所につき2箇所。 変位は施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所。延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			変　　位	300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						壁 体 長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
	10		地中連続壁工（柱列式）	基準高は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所。延長40m（又は50m）以下のものについては1施工箇所につき2箇所。 変位は施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所。延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。	 D：杭径		基 準 高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						連壁の長さ ℓ	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						変　　位	D/4以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

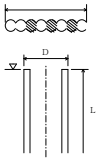
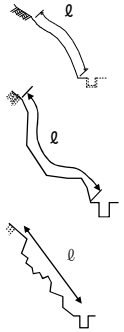
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
10 仮設工	10		地中連続壁工（柱列式）	基準高は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所。延長40m（又は50m）以下のものについては1施工箇所につき2箇所。 変位は施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所。延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。	 D：杭径		壁 体 長 L		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
	22		法面吹付工	施工延長40mにつき1箇所、40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。		法長ℓ	ℓ＜3m	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							ℓ≧3m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				200㎡につき1箇所以上、200㎡以下は2箇所をせん孔により測定。		厚さt	t＜5cm	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							t≧5cm	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

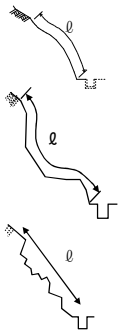
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
10 仮設工	22		法面吹付工	200㎡につき1箇所以上、200㎡以下は2箇所をせん孔により測定。		厚さ t	但し、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				1施工箇所毎		延　長 L		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目			チェック内容	チェック内容							備考
12 工場製作工 共通	1	1	鋳造費（金属支承工）	製品全数を測定 ※1)ガス切断寸法を準用する ※2）片面のみの削り加工の場合も含む。 ※3）ソールプレートの接触面の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用するものとする。 ※4)全移動量分の遊間が確保されているのかをする。 ※5)組立て後に測定		上下部鋼構物との接合用ボルト孔	孔の直径差		＋2 －0	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
							中心距離	ボスの突起を基準とした孔の位置ずれ									
								≦1,000mm	1以下	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
								ボスの突起を基準とした孔の位置ずれ									
								＞1,000m	1．5以下	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所	測定項目			チェック内容	チェック内容						備考
12 工場製作工 共通	1	1	鋳造費(金属支承工)	製品全数を測定 ※1)ガス切断寸法を準用する ※2) 片面のみの削り加工の場合も含む。 ※3) ソールプレートの接触面の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用するものとする。 ※4) 全移動量分の遊間が確保されているのかをする。 ※5) 組立て後に測定	アンカーバー用孔(鋳放し)アンカーボルト	ドリル加工孔	≦100mm	＋3 －1	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
							＞1000m	＋4 －2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
						孔の中心距離※1		JIS B 0403-1995 CT13							
					センターボス	ボスの直径		＋0 －1	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
						ボスの高さ		＋1 －0	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所		測定項目		チェック内容	チェック内容							備考
節	条	枝番														
12 工場製作工 共通	1	1	鋳造費 （金属支承工）	製品全数を測定		ボス ※5	ボスの直径	＋0 －1	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				※5）組立て後に測定			ボスの高さ	＋1 －1	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目			チェック内容	チェック内容							備考
12	1	1	鋳造費(金属支承工)	製品全数を測定		上沓の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法			JIS B 0403-1995 CT13								
工場製作工 共通				※1) ガス切断寸法を準用する ※2) 片面のみの削り加工の場合も含む。 ※3) ソールプレートの接触面の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用するものとする。 ※4) 全移動量分の遊間が確保されているのかをする。 ※5) 組立て後に測定		全移動量ℓ ※4	ℓ≦300mm		±2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
							ℓ＞300m		±ℓ/100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						組立高さH	上・下面加工仕上げ		±3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
							コンクリート構造用	H≦300mm	±3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
								H＞300m	(H/200+3)小数点以下切り捨て	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		チェック内容	チェック内容							備考
12 工場製作工 共通	1	1	鋳造費(金属支承工)	製品全数を測定 ※1) ガス切断寸法を準用する ※2) 片面のみの削り加工の場合も含む。 ※3) ソールプレートの接触面の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用するものとする。 ※4) 全移動量分の遊間が確保されているのかをする。 ※5) 組立て後に測定		普通寸法	鋳放し長さ寸法 ※2)、※3)	JIS B 0403-1995 CT14	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							鋳放し肉厚寸法 ※2)	JIS B 0403-1995 CT15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							削り加工寸法	JIS B 0403-1991 粗級	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							ガス切断寸法	JIS B 0417-1979 B級	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

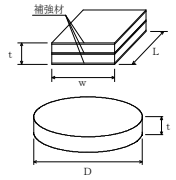
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		チェック内容	チェック内容						備考
12 工場製作工 共通	1	2	鋳造費 (大型ゴム支承工)	製品全数を測定。 平面度:1個のゴム支沓の厚さ(t)の最大相対誤差		幅W 長さL 直径D	W、L、D≦500	0～＋5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							500＜W、L、D≦1500mm	0～＋1%	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							1500＜W、L、D	0～＋15	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						厚さt	t≦20mm	±0.5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							20＜t≦160	±2.5%	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

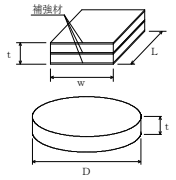
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		チェック内容	チェック内容						備考
12 工場製作工 共通	1	2	鋳造費 (大型ゴム支沓工)	製品全数を測定。 平面度:1個のゴム支沓の厚さ(t)の最大相対誤差		厚さt	160＜t	±4	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						相対誤差	w , L , D ≦ 1000mm	1	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							1000mm ＜ w , L , D	(w,L,D)／1000	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
	1	3	仮設材製作工	図面の寸法表示箇所で測定		部材	部材長ℓ(m)	±3・・・・ℓ≦10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
								±4・・・・ℓ＞10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

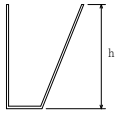
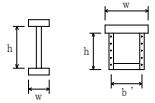
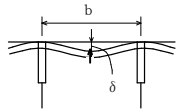
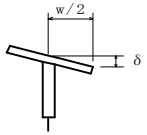
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目			チェック内容	チェック内容							備考
12 工場製作工 共通	1	4	刃口金物製作工	図面の寸法表示箇所で測定。		刃口高さ h（m）			±2‥‥h≦0.5 ±3‥‥0.5＜h≦1.0 ±4‥‥1.0＜h≦2.0	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						外周長L（m）			±(10+L/10)	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
	3	1	桁製作工 （仮組立による検査を実施する場合） （シュミレーション仮組立検査を行う場合）	主桁・主構 各支点及び各支点中央付近を測定。 床組など 構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。 なお、JISマーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。	 I型鋼げた　トラス弦材	部材精度		フランジ幅w(m) 腹板高 h(m) 腹板間隔b'(m)	±2‥‥ w≦0.5 ±3‥‥0.5＜w≦1.0 ±4‥‥1.0＜w≦2.0 ±(3+w/2)‥2.0＜w	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
				主桁 各支点及び各支間中央付近を測定。 h：腹板高(mm) b：腹板又はリブの間隔(mm) w：フランジ幅(mm)	 		板の平面度δ(mm)	鋼桁及びトラス等の部材の腹板	h/250	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
								箱桁及びトラス等のフランジ鋼床版のデッキプレート	b/150	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

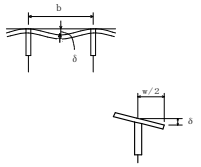
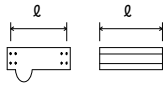
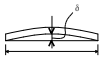
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		チェック内容	チェック内容						備考
12 工場製作工 共通	3	1	桁製作工	主桁 各支点及び各支間中央付近を測定。 h：腹板高(mm) b：腹板又はリブの間隔(mm) w：フランジ幅(mm)		部材精度	フランジの直角度δ(mm)	w/200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
			（仮組立による検査を実施する場合）（シュミレーション仮組立検査を行う場合）						確認箇所						
									コメント						
				原則として仮組立をしない状態の部材について、主要部材全数を測定。			部材長ℓ(m) 鋼桁	±3・・・・ℓ≦10 ±4・・・・ℓ＞10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
							部材長ℓ(m) トラス、アーチなど	±2・・・・ℓ≦10 ±3・・・・ℓ＞10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
				トラス・アーチ等 主要部材全数を測定 ℓ：部材長(mm)			圧縮材の曲がりδ(mm)	ℓ／1000	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
						※規格値のW，Lに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「板の平面度δ、フランジの直角度δ、圧縮材の曲がりδ」の規格値のh,b,w,ℓに代入する数値はmm単位の数値とする。									

品質証明チェックシート（出来形）

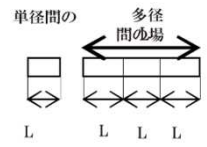
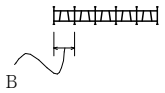
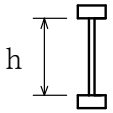
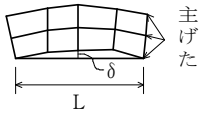
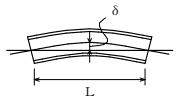
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		チェック内容	チェック内容						備考
12 工場製作工 共通	3	1	桁製作工 （仮組立による検査を実施する場合） （シュミレーション仮組立検査を行う場合）	各桁毎に全数を測定		仮組立精度	全長　L(m) 支間長　Ln(m)	±(10+L/10) ±(10+Ln/10)	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				各支点及び各支間中央付近を測定			主桁・主構の中心間距離　B(m)	±4・・・・・・・B≦2 ±(3+B/2)・・B＞2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				トラス・アーチ等 両端部及び中心部を測定			主構の組立高さ　h(m)	±5・・・・・・・・h≦5 ±(2.5+h/2)・・h＞5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				最も外側の主桁又は主構について支点及び支間中央の1点を測定 L：測線上(m)			主桁、主構の通りδ(mm)	5+L/5・・・・L≦100 25・・・・・・・L＞100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				鋼桁等 各主桁について10～12m間隔を測定。 L:主桁の支間長(m) トラス・アーチ等 各主構の各格点を測定 L:主構の支間長(m)			主桁、主構のそり　δ(mm)	−5～+5・・・・L≦20 −5～+10・・・・・・ 20＜L≦40 −5～+15・・・・・・ 40＜L≦80 −5～+25・・・・・・ 80＜L≦200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

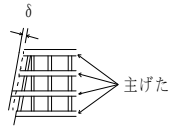
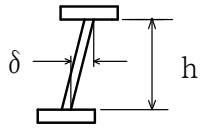
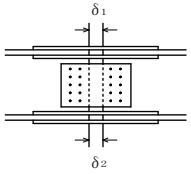
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		チェック内容	チェック内容							備考
12	3	1	工場製作工 共通	どちらか一方の主桁（主構）端を測定。		仮組立精度	主桁、主構の橋端における出入り差δ(mm)	設計値　±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				鋼桁等 各主桁の両端部を測定 h：主桁の高さ(mm) トラス・アーチ等 支点及び支間中央付近を測定。 h：主構の高さ(mm)			主桁、主構の鉛直度δ(mm)	3+h/1,000	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 δ1、δ2のうち大きいもの 設計値が5mm以下の場合は、マイナス側については設計値以上とする。			現場継手部のすき間 δ1、δ2(mm)	設計値±5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							※規格値のL,B,hに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「主げた、主構の鉛直度δ」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。									

品質証明チェックシート（出来形）

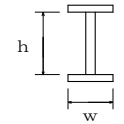
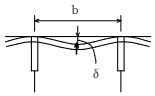
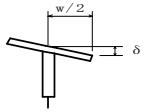
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目			チェック内容	チェック内容							備考
12 工場製作工 共通	3	2	桁製作工（仮組立検査を実施しない場合）	主桁・主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床版など 構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。	 I 型鋼げた	部材精度	フランジ幅w(m)		±2・・・・　w≦0.5 ±3・・・・0.5＜w≦1.0 ±4・・・・1.0＜w≦2.0 ±(3+w/2)・・・2.0＜w	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
							腹板高 h(m)										
				主桁 各支点及び各支間中央付近を測定。 h：腹板高(mm) b：腹板又はリブの間隔(mm) w：フランジ幅(mm)	 		板の平面度δ(mm)	鋼桁等の部材の腹板	h/250	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
								箱桁等のフランジ鋼床版のデッキプレート	b/150	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
							フランジの鉛直度δ(mm)		w/200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

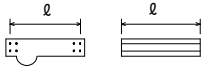
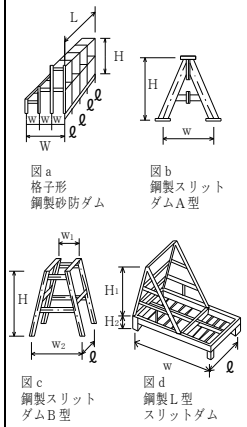
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目			チェック内容	チェック内容							備考
12 工場製作工 共通	3	2		主要部材全数を測定。		部材精度	部材長ℓ（m）	鋼桁	±3・・・・ℓ≦10 ±4・・・・ℓ＞10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
				※規格値のw、ℓに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「板の平面度δ、フランジの直角度δ」の規格値のh、b、wに代入する数値はmm単位の数値とする。												
	3		桁製作工（鋼製堰堤製作工（仮組立時））	全数を測定。	 図a 格子形 鋼製砂防ダム 図b 鋼製スリットダムA型 図c 鋼製スリットダムB型 図d 鋼製L型スリットダム			部材の水平度	10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
								堤　長 L	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
								堤　長 ℓ	±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

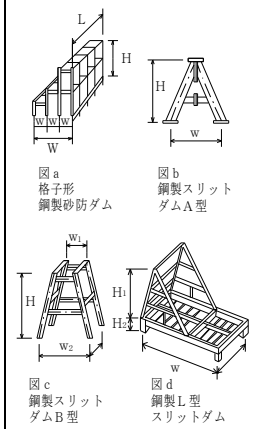
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所			測定項目	チェック内容	チェック内容							備考
節	条	枝番														
12 工場製作工 共通	3	3	桁製作工(鋼製堰堤製作工(仮組立時))	全数を測定。			堤　幅 W	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							堤　幅 w	±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							高　さ H	±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							ベースプレートの高さ	±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							本体の傾き	±H/500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

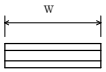
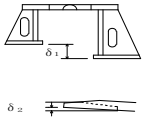
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		チェック内容	チェック内容						備考
12 工場製作工 共通	4		検査路製作工	図面の寸法表示箇所で測定		部材	部材長ℓ（m）	±3・・・・ℓ≦10 ±4・・・・ℓ＞10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
	5		鋼製伸縮継手製作工	製品全数を測定。		部材	部材長w（m）	0～＋30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				両端及び中央部付近を測定		仮組立時	組み合わせる伸縮装置との高さの差δ1（mm）	設計値 ±4	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							フィンガーの食い違いδ2（mm）	±2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

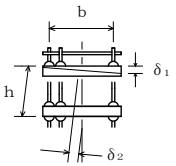
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		チェック内容	チェック内容						備考
12 工場製作工 共通	6		落橋防止装置製作工	図面の寸法表示箇所で測定		部材	部材長ℓ（m）	±3・・・・ℓ≦10 ±4・・・・ℓ＞10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
	7		橋梁用防護柵製作工	図面の寸法表示箇所で測定		部材	部材長ℓ（m）	±3・・・・ℓ≦10 ±4・・・・ℓ＞10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
	8		アンカーフレーム製作工	軸心上全数測定。		仮組立時	上面水平度δ1(mm)	b/500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							鉛直度δ2(mm)	h/500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							高さh(mm)	±5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

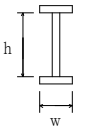
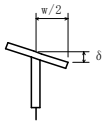
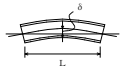
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		チェック内容	チェック内容						備考
12 工場製作工 共通	9		プレビーム用桁製作工	各支点及び各支間中央付近を測定	 Ⅰ型鋼げた	部材	フランジ幅w（m）	±2・・・・・・・ w≦0.5 ±3・・・・0.5＜w≦1.0 ±4・・・・1.0＜w≦2.0 ±(3+w/2)・・ 2.0＜w	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							腹板高 h（m）									
				各支点及び各支間中央付近を測定			フランジの直角度δ（mm）	w/200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				原則として仮組立をしない部材について主要部材全数で測定。			部材長ℓ（m）	±3・・・・ℓ≦10 ±4・・・・ℓ＞10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				各主桁について、10～12m間隔を測定。		仮組立時	主桁のそり δ	−5～+5・・・ L≦20 −5～+10・・・ 20＜L≦40	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所		測定項目		チェック内容	チェック内容							備考
節	条	枝番														
12 工場製作工 共通	10		鋼製排水管製作工	図面の寸法表示箇所で測定		部材	部材長ℓ (m)	±3・・・・ℓ≦10 ±4・・・・ℓ＞10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
	11		工場塗装工	外面塗装では、無機ジンクリッチペイントの塗付後と上塗り終了後に測定し、内面塗装では内面塗装終了時に測定。 1ロットの大きさは、500m2とする。 1ロット当たり測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。 但し、1ロットの面積が200m2に満たない場合は10m2ごとに1点とする。			塗装厚	a、ロット塗装厚の平均値は、目標塗装厚合計値の90%以上。 b、測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。 c、測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%以下。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

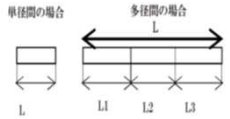
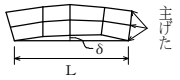
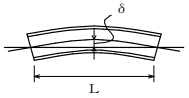
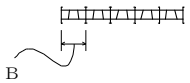
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
13 橋梁架設工			架設工（鋼橋）（クレーン架設）（ケーブルクレーン架設）（ケーブルエレクション架設）（架設桁架設）（送出し架設）（トラベラークレーン架設）	各桁毎に全数測定。		全長　L(m) 支間長　Ln(m)	±(20+L/5) ±(20+Ln/5)	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
				L：主桁・主構の支間長(m)		通　りδ(mm)	±(10+2L/5)	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
				主桁、主構を全数測定。 L：主桁・主構の支間長(m)		そ　りδ(mm)	±(25+L/2)	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
				各支点及び各支間中央付近を測定。		※主桁、主構の中心間距離B(m)	±4…B≦2 ±(3+B/2)…B＞2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

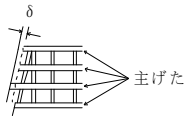
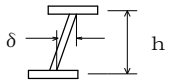
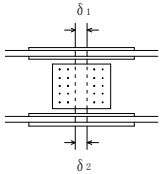
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
13 橋梁架設工			架設工 （鋼橋） （クレーン架設） （ケーブルクレーン架設） （ケーブルエレクション架設） （架設桁架設） （送出し架設） （トラベラークレーン架設）	どちらか一方の主桁（主構）端を測定。		※主桁の橋端における 出入差δ（mm）	±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				各主桁の両端部を測定。 h：主桁・主構の高さ(mm)		※主桁、主構の鉛直度 δ （mm）	3+h/1,000	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				主桁、主構の全継手数の1／2を測定。 δ_1, δ_2のうち大きいもの なお、設計値が5mm未満の場合は、すき間の許容範囲の下限値を0mm とする。（例：設計値が3mmの場合、すき間の許容範囲は0mm～8mm）		※現場継手部のすき間 δ_1, δ_2(mm)	±5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
								※は仮組立検査を実施しない工事に適用							
						※規格値のL，Bに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「主桁、主構の鉛直度δ」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。								

品質証明チェックシート(出来形)

(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
13 橋梁架設工			架設工(コンクリート橋) (クレーン架設) (架設桁架設) 架設工支保工 (固定) (移動) 架設桁架設 (片持架設) (押出し架設)	各桁毎に全数測定。		全 長・支 間	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				一連毎の両端及び支間中央について各上下間を測定。		桁の中心間距離	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				主桁を全数測定。		そ　　り	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所	測定項目		規格値	チェック内容							備考
14 法面工 共通	2	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工) (植生マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所 ただし、計測手法については、従来管理のほかに「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリ)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。このほか、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。	切土法長ℓ	ℓ＜5m	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						ℓ≧5m	法長の−4%	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
					盛土法長ℓ	ℓ＜5m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						ℓ≧5m	法長の−2%	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
14 法面工 共通	2	1	植生工（種子散布工）（張芝工）（筋芝工）（市松芝工）（植生シート工）（植生マット工）（植生筋工）（人工張芝工）（植生穴工）	1施工個所毎 ただし、計測手法については、従来管理のほかに「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリ）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。このほか、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。		延長 L		-200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
14 法面工 共通	2	2	植生工（植生基材吹付工）（客土吹付工）	施工延長40m につき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所 ただし、計測手法については、従来管理のほかに「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリ）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。このほか、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。		法長ℓ	ℓ＜5m	-200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							ℓ≧5m	法長の-4%	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
14 法面工 共通	2	2	植生工 （植生基材吹付工） （客土吹付工）	施工面積200m2につき1箇所、面積200m2以下のものは、1施工箇所につき2箇所。 検査孔により測定。		厚さ t	t＜5cm	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							t≧5cm	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							但し、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上。								
				1施工箇所毎 ただし、計測手法については、従来管理のほかに「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリ）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。このほか、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。		延長 L		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

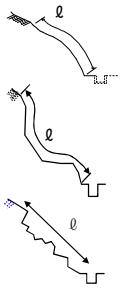
品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
14 法面工 共通	3		吹付工（コンクリート）（モルタル）	施工延長40mにつき1箇所、40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。測定断面に凹凸があり、曲線法長の測定が困難な場合は直線法長とする。ただし、計測手法については、従来管理のほかに「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリ）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。このほか、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。		法長ℓ	ℓ＜3m	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							ℓ≧3m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				200㎡につき1箇所以上、200㎡以下は2箇所をせん孔により測定。		厚さt	t ＜5cm	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							t ≧5cm	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							但し、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

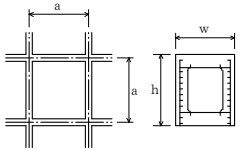
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容						備考
14 法面工 共通	3		吹付工（コンクリート）（モルタル）	1施工箇所毎 ただし、計測手法については、従来管理のほかに「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「TS（ノンプリ）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。このほか、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。		延　長 L		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
	4	1	法枠工（現場打法枠工）（現場吹付法枠工）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 計測手法については、従来管理のほかに「3次元計測技術を用いた出来形計測要領（案）」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることが出来る。		法長 ℓ	ℓ＜10m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
							ℓ≧10m	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
				枠延延長100mにつき1箇所、枠延延長100m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 計測手法については、従来管理のほかに「3次元計測技術を用いた出来形計測要領（案）」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることが出来る。		幅　w		−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
					曲線部は設計図書による	高　さ h		−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						

品質証明チェックシート(出来形)

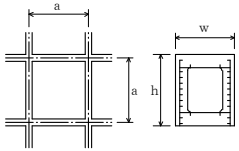
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【土木工事共通編:一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
14 法面工 共通	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	枠延延長100mにつき1箇所、枠延延長100m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 計測手法については、従来管理のほかに「3次元計測技術を用いた出来形計測要領(案)」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることが出来る。		枠中心間隔 a		±100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				1施工箇所毎 計測手法については、従来管理のほかに「3次元計測技術を用いた出来形計測要領(案)」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることが出来る。	曲線部は設計図書による	延　長 L		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
		2	法枠工 (プレキャスト法枠工)	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		法長 ℓ	ℓ ＜10m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							ℓ ≧10m	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

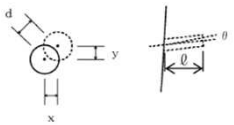
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：一般施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
14 法面工 共通	4	2	法枠工（プレキャスト法枠工）	1施工箇所毎		延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	6		アンカー工	全数	 $d=\sqrt{x^2+y^2}$	削孔深さ ℓ	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						配置誤差　d	100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						せん孔方向　θ	±2.5度	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

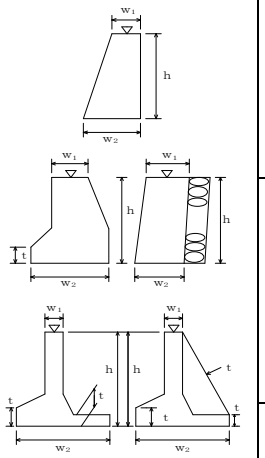
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：共通施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	チェック内容	チェック内容						備考
15 擁壁工 共通	1		（一般事項）場所打擁壁工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚　さ t	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						裏込厚さ	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　w_1, w_2	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

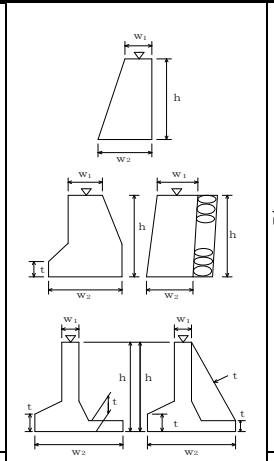
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：共通施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		チェック内容	チェック内容							備考
15 擁壁工 共通	1		（一般事項）場所打擁壁工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		高さ h	h＜3m	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							h≧3m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				1施工箇所毎		延　長 L		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

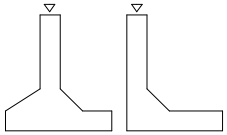
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：共通施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	チェック内容	チェック内容						備考
15 擁壁工 共通	2		プレキャスト擁壁工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基 準 高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				1施工箇所毎		延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

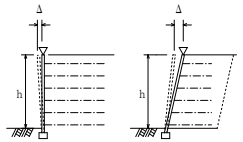
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：共通施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		チェック内容	チェック内容							備考
15 擁壁工 共通	3		補強土壁工（補強土（テールアルメ）壁工法）（多数アンカー式補強土工法）（ジオテキスタイルを用いた補強土工法）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						高さ h	h＜3m	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							h≧3m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						鉛直度Δ		±0.03hかつ±300以内								
						控え長さ		設計値以上								
				1施工箇所毎		延　長 L		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

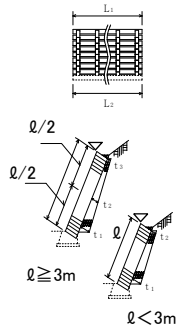
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：共通施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		チェック内容	チェック内容							備考
15 擁壁工 共通	4		井桁ブロック工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						法長ℓ	高さh＜3m	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							高さh≧3m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						厚さ t_1, t_2, t_3		−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				1施工箇所毎		延長 L_1, L_2		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

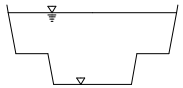
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：共通施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目			チェック内容 上限	チェック内容 下限	チェック内容						備考
16 浚渫工 共通	3	1	浚渫船運転工（ポンプ浚渫船）	延長方向は、設計図書により指定された測点毎。 横断方向は、5m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。							日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						基準高▽	電気船	200ps	+200	−800	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
								500ps	+200	−1000	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
								1,000ps	+200	−1200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
							ディーゼル船	250ps	+200	−800	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

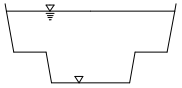
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：共通施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目			チェック内容		チェック内容							備考
16 浚渫工 共通	3	1	浚渫船運転工（ポンプ浚渫船）	延長方向は、設計図書により指定された測点毎。 横断方向は、5m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。		基準高▽	ディーゼル船	420ps 600ps	+200	−1000	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
								1,350ps	+200	−1200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						幅			−200		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							
						延　長			−200		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
											確認箇所							
											コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

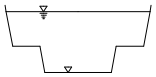
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：共通施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	チェック内容		チェック内容						備考
16 浚渫工 共通	3	2	浚渫船運転工 （グラブ浚渫船） （バックホウ浚渫船）	延長方向は、設計図書により指定された測点毎。 横断方向は、5m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。		基準高 ▽	+200以下		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
						幅	−200		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
						延　長	−200		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
16 浚渫工 共通	3	3	浚渫船運転工 （バックホウ浚渫船） （面管理の場合）	1．3次元データによる出来形管理において「音響測深機器を用いた出来形管理要領（河川浚渫）（案）」、「施工履歴ﾃﾞｰﾀを用いた出来形管理要領（河川浚渫）（案）」に基づき出来形管理を面管理で実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2．個々の計測値の規格値には計測精度として±100mmが含まれている。 3．計測は平場面と法面の全面とし、全ての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点／m2（平面投影面積当たり）以上とする。		標高較差	平均値：0以下 個々の計測値：＋400以下		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
									日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：共通施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	チェック内容	チェック内容							備考
18 床版工	2		床版工	基準高は、1径間当たり2箇所（支点付近）で、1箇所当たり両端と中央部の3点、幅は1径間当たり3箇所、厚さは型枠設置時におおむね10㎡に1箇所測定。 （床版の厚さは、型枠検査をもって代える。）		基準高 ▽	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	注）新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外））の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領（案）」も併せて適用する
								確認箇所							
								コメント							
						幅　　w	0～＋30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚　さ t	−10～＋20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				1径間当たり3断面（両端及び中央）測定。1断面の測定箇所は断面変化毎1箇所とする。		鉄筋のかぶり	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						鉄筋の有効高さ	±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【土木工事共通編：共通施工】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所		測定項目	チェック内容	チェック内容							備考
節	条	枝番													
18 床版工	2		床版工	1径間当たり3箇所（両端及び中央）測定。 1箇所の測定は、橋軸方向の鉄筋は全数、橋軸直角方向の鉄筋は加工形状毎に2mの範囲を測定。		鉄筋間隔	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	注）新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外））の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領（案）」も併せて適用する
								確認箇所							
								コメント							
						上記、鉄筋の有効高さがマイナスの場合	±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

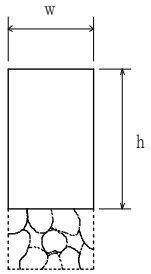
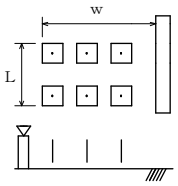
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川編：築堤護岸】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
7 法覆護岸工	4		護岸付属物			幅　w	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高　さ　h	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
10 水制工	8		杭出し水制工	1組毎		基準高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　w	±300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

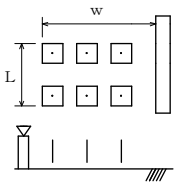
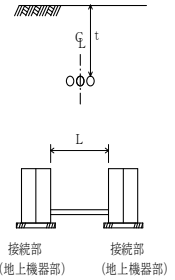
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川編：築堤護岸】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
10 水制工	8		杭出し水制工	1組毎		方　向	±7°	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
13 光ケーブル配管工	3		配管工	接続部（地上機器部）間毎に1箇所。		埋 設 深 t	0～+50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				接続部（地上機器部）間毎で全数。 【管路センターで測定】		延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

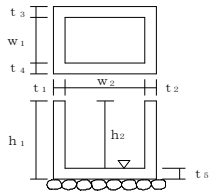
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川編：築堤護岸】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
13 光ケーブル配管工	4		ハンドホール工	1箇所毎 ※は現場打部分のある場合		基 準 高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						※厚さ t1～t5	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						※幅 w1,w2	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						※高さ h1,h2	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

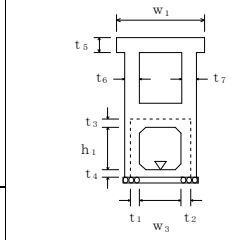
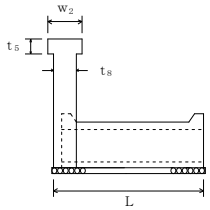
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川編：樋門・樋管】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
5 樋門・樋管本体工	6	1	函渠工（本体工）	柔構造樋門の場合は埋戻前（載荷前）に測定する。		基 準 高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				函渠寸法は、両端、施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所で測定。 門柱、操作台等は、図面の寸法表示箇所で測定。 プレキャスト製品使用の場合は、製品寸法を規格証明書で確認するものとし、『基準高』と『延長』を測定。		厚さ t1～t8	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　w1, w2	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						内空幅　w3	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						内空高　h1	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

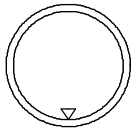
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川編：樋門・樋管】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
5 樋門・樋管本体工	6	1	函渠工（本体工）	函渠寸法は、両端、施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所で測定。 門柱、操作台等は、図面の寸法表示箇所で測定。 プレキャスト製品使用の場合は、製品寸法を規格証明書で確認するものとし、『基準高』と『延長』を測定。		延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	6	2	函渠工 （ヒューム管） （PC管） （コルゲートパイプ） （ダクタイル鋳鉄管）	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基 準 高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				1施工箇所毎		延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

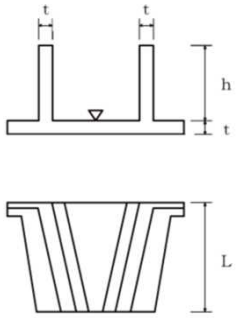
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川編：樋門・樋管】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
5 樋門・樋管本体工	7・8		翼壁工 水叩工	図面の寸法表示箇所で測定。		基準高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚　さ t	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　　w	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高　さ h	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川編：水門】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
6 水門本体工	7 8 9 10 11		床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	図面の寸法表示箇所で測定。		基準高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚　さ t	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　　w	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高　さ h	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

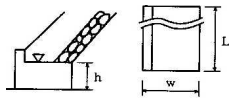
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【河川海岸編:堤防護岸】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
5 護岸基礎工	5		場所打コンクリート工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　w	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高　さ h	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

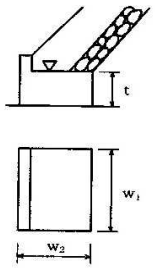
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【河川海岸編:堤防護岸】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
5 護岸基礎工	6		海岸コンクリートブロック工	ブロック個数40個につき1箇所の割で測定。基準高、延長は施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						ブロック厚 t	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						ブロック縦幅w_1	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						ブロック横幅w_2	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

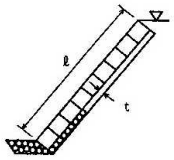
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【河川海岸編:堤防護岸】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
6 護岸工	4		海岸コンクリートブロック工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						法長ℓ	ℓ<5m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							ℓ≧5m	L×(−2%)	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						厚　さ t		−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						延　長 L		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

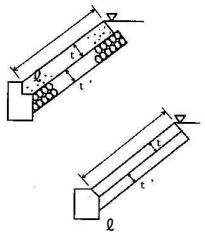
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【河川海岸編:堤防護岸】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
6 護岸工	5		コンクリート被覆工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(護岸工編)(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		基準高 ▽		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						法長 ℓ	ℓ＜3m	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							ℓ≧3m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						厚さ t	t＜100	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							t≧100	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

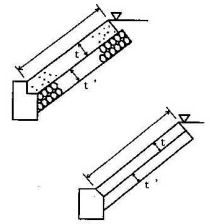
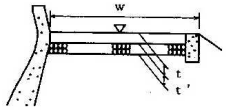
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【河川海岸編:堤防護岸】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
6 護岸工	5		コンクリート被覆工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(護岸工編)(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		裏込材厚t'	-50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	-200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
8 天端被覆工	2		コンクリート被覆工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所		基準高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　w	-50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚　さ t	-10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

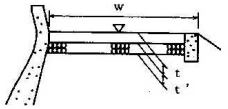
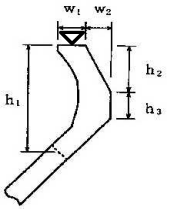
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【河川海岸編:堤防護岸】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
8 天端被覆工	2		コンクリート被覆工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所		基礎厚 t'	-45	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延長 L	-200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
9 波返工	3		波返工	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅 w_1, w_2	-30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高さ h<3m h1, h2, h3	-50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

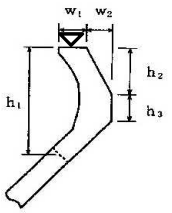
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【河川海岸編:堤防護岸】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
9 波返工	3			施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		高さ h≧3m h1, h2, h3	-100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	-200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

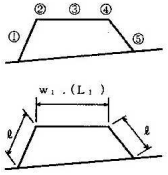
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目			規格値	チェック内容							備考
4 突堤基礎工	4		捨石工	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。		基準高▽	本　均　し		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
							表 面 均 し		±100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						荒均し		異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
								異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

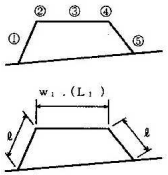
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目			規格値	チェック内容							備考
4 突堤基礎工	4		捨石工	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。		基準高▽	被覆均し	異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
								異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
				幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		法　長 ℓ			−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						天 端 幅 w_1			−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
						天 端 延 長 L_1			−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

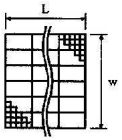
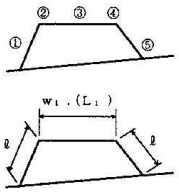
品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
4 突堤基礎工	5		吸出し防止工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		幅　　w		−300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						延　長 L		−500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
5 突堤本体工	2		捨石工	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。		基準高▽	異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		法　　長 ℓ		−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

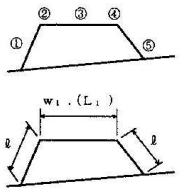
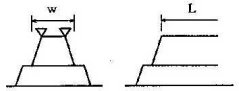
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
5 突堤本体工	2		捨石工	幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		天 端 幅 w_1		−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						天 端 延 長 L_1		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
5 突堤本体工	5		海岸コンクリートブロック工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。延長は、センターラインで行う。		基準高▽	（層積）ブロック規格26t未満	±300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							（層積）ブロック規格26t以上	±500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							（乱　　積）	±ブロックの高さの1／2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

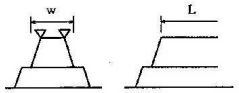
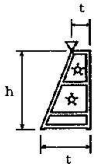
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
5 突堤本体工	5		海岸コンクリートブロック工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。延長は、センターラインで行う。		天端幅 w		ーブロックの高さの1／2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						天端延長 L		ーブロックの高さの1／2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
	9		石砕工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						厚　さ t		−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						高さh	h＜3m	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

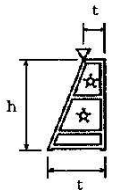
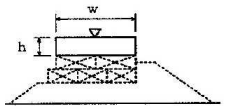
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
5 突堤本体工	9		石砕工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		高さh	h≧3m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				1施工箇所毎		延　長 L		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
	10		場所打コンクリートエ	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基 準 高 ▽		±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						幅　　w		−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						高　さ　h		−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

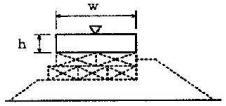
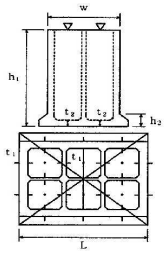
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
5 突堤本体工	10		場所打コンクリート工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		延　長 L		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
5 突堤本体工	11	1	ケーソン工（ケーソン工製作）	各室中央部1箇所		バラストの基準高▽	砕石、砂	±100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							コンクリート	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				底版完成時、各壁1箇所		壁　厚 t_1		±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				各層完成時に中央部及び底版と天端は両端		幅　w		＋30, －10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

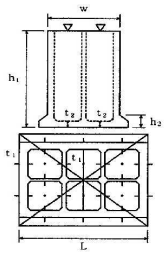
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
5 突堤本体工	11	1	ケーソン工（ケーソン工製作）	完成時、四隅		高　さ h_1	＋30，－10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				各層完成時に中央部及び底版と天端は両端		長　さ L	＋30，－10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				底版完成時、各室中央部1箇所		底版厚さ　t_2	＋30，－10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				底版完成時、四隅		フーチング高さh_2	＋30，－10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

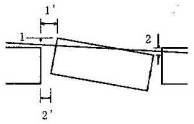
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
5 突堤本体工	11	2	ケーソン工（ケーソン工据付）	据付完了後、両端2箇所		法線に対する出入 1、2	ケーソン重量 2000t未満 ±100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
							ケーソン重量 2000t以上 ±150	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				据付完了後、天端2箇所		据付目地間隔 1'、2'	ケーソン重量 2000t未満 100以下	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
							ケーソン重量 2000t以上 200以下	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

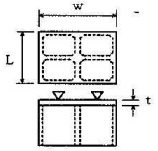
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
5 突堤本体工	11	3	ケーソン工（突堤上部工） 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	1室につき1箇所（中心）		基準高▽	陸　上	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							水　中	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						厚　さ t		±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						幅　　w		±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						長　さ L		±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

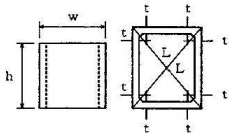
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
5 突堤本体工	12	1	セルラー工（セルラー工製作）	型枠取外し後全数		壁　厚 t	±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　w	＋20，－10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高　さ h	＋20，－10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						長　さ L	＋20，－10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

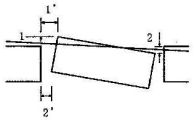
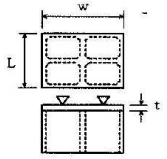
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
5 突堤本体工	12	2	セルラー工（セルラー工据付）	据付後ブロック1個に2箇所（各段毎）		法線に対する出入 1、2		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						隣接ブロックとの間隔 1’、2’		50以下	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
		3	セルラー工（突堤上部工） 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	1室につき1箇所（中心）		基準高▽	陸　上	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							水　中	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						厚　さ t		±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

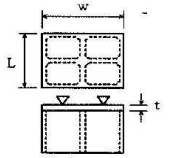
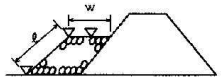
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
5 突堤本体工	12	3	セルラー工（突堤上部工） 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	1室につき1箇所（中心）		幅　　w		±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						長　さ L		±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
6 根固め工	2		捨石工	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。		基準高▽	異形ﾌﾞﾛｯｸ据付面（乱積）の高さ	±500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							異形ﾌﾞﾛｯｸ据付面(乱積）以外の高さ	±300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		法　　長 ℓ		−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

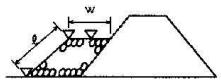
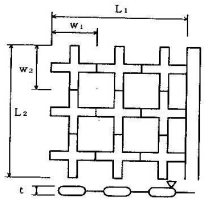
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
6 根固め工	2		捨石工	幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		天 端 幅 w		−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						天 端 延 長 L		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
	3		根固めブロック工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高▽	層　　積	±300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							乱　　積	±t／2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				幅、厚さは40個につき1箇所測定		厚　さ t		−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

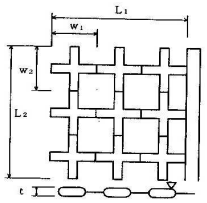
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
6 根固め工	3		根固めブロック工	幅、厚さは40個につき1箇所測定		幅 w_1 w_2	層　積	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							乱　積	−t／2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				1施工箇所毎		延長 L_1 L_2	層　積	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							乱　積	−t／2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

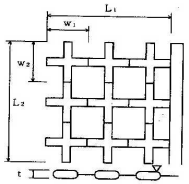
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：突堤人工岬】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
7 消波工	3		消波ブロック工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所。延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高▽	層　　積	±300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							乱　　積	±t／2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				幅、厚さは40個につき1箇所測定		厚　さ t		−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						幅　w_1, w_2		−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						延長　L_1, L_2		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

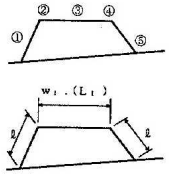
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：海域堤防】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目			規格値	チェック内容							備考
3 海域堤基礎工	3		捨石工	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。		基準高▽	本　均　し		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
							荒均し	異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
								異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
							被覆均し	異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
								異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

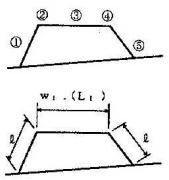
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【河川海岸編：海域堤防】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 海域堤基礎工	3		捨石工	幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		法　長 ℓ	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						天 端 幅 w_1	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						天 端 延 長 L_1	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

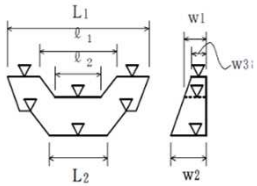
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【砂防編：砂防堰堤】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
3 工場製作工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	図面の寸法表示箇所で測定。		部材	部材長ℓ(m)	±3… ≦10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
								±4… ℓ＞10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
8 コンクリート堰堤工	4		コンクリート堰堤本体工	図面の表示箇所で測定。		基準高 ▽		±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						天端部 w1, w3 堤幅 w2		−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						水通しの幅ℓ1, ℓ2		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

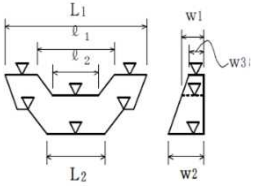
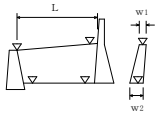
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【砂防編：砂防堰堤】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
8 コンクリート堰堤工	4		コンクリート堰堤本体工	図面の表示箇所で測定。		堤 長 L1, L2	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	6		コンクリート側壁工	1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。		基 準 高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　w1, w2	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						長　さ L	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

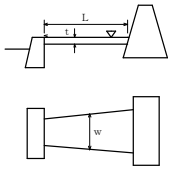
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【砂防編：砂防堰堤】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
節	条	枝番												
8 コンクリート堰堤工	8		水叩工	基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所で測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		基準高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　w	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚　さ t	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

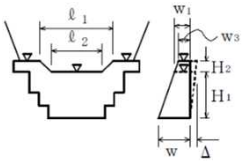
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【砂防編：砂防堰堤】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容						備考
9 鋼製堰堤工	5	1	鋼製堰堤本体工（不透過型）	1. 図面の表示箇所で測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は＋の規格値は適用しない。		水通し部	堤　高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
							長 さℓ1，ℓ2	±100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
							幅　w1，w3	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
							下流側倒れ　Δ	±0.02H1	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

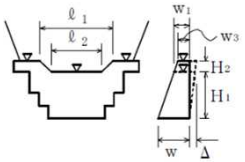
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【砂防編：砂防堰堤】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
9 鋼製堰堤工	5	1	鋼製堰堤本体工（不透過型）	1. 図面の表示箇所で測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は＋の規格値は適用しない。		袖部	袖　高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							幅　w2	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							下流側倒れ　Δ	±0.02H2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

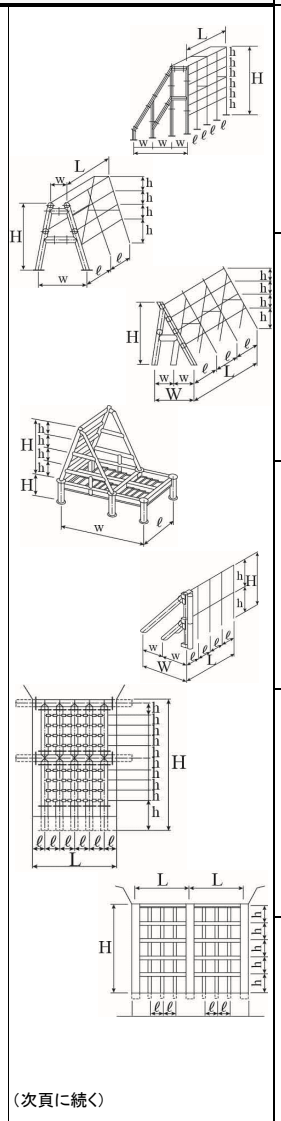
工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【砂防編：砂防堰堤】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	チェック内容						備考
9 鋼製堰堤工	5	2	鋼製堰堤本体工（透過型）	図面の寸法表示箇所で測定	堤長 L	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所							
							コメント							
					堤長 ℓ	±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所							
							コメント							
					堤幅W	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所							
							コメント							
					堤幅w	±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所							
							コメント							
							日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所							
							コメント							



（次頁に続く）

品質証明チェックシート（出来形）

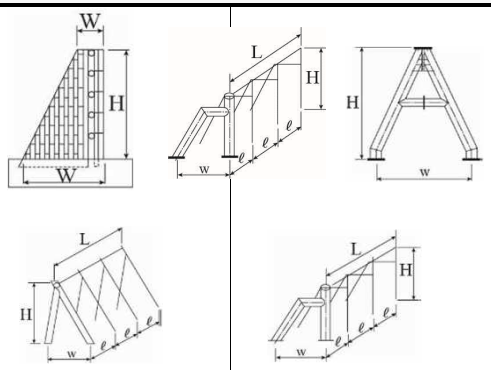
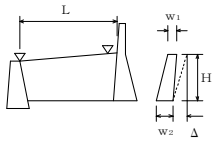
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【砂防編：砂防堰堤】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	条	枝番	工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	チェック内容						備考
9 鋼製堰堤工	5	2	鋼製堰堤本体工（透過型）		高さH	±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所							
							コメント							
					高さh	±10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所							
							コメント							
	6		鋼製側壁工	1. 図面に表示してある箇所で測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は＋の規格値は適用しない。 	堤　高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所							
							コメント							
					長　さ L	±100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所							
							コメント							
					幅　w1, w2	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所							
							コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

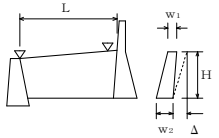
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【砂防編：砂防堰堤】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容						備考
9 鋼製堰堤工	6			1. 図面に表示してある箇所で測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は＋の規格値は適用しない。		下流側倒れ　Δ		±0.02H	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						高さh	h＜3m	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							h≧3m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

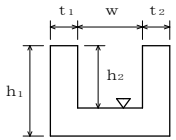
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【砂防編：流路】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
5 床固め工	8		魚道工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅 w	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高さ h1, h2	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚さ t1, t2	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

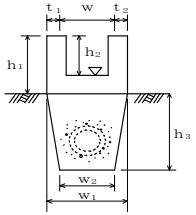
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【砂防編:斜面対策】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
節	条	枝番													
6 山腹水路工	4		山腹明暗渠工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		基準高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚さ t1, t2	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅 w	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅 w1, w2	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高さ h1, h2	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

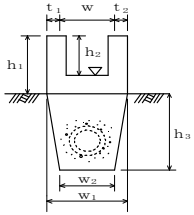
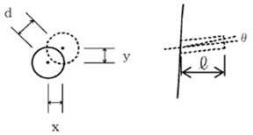
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【砂防編:斜面対策】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
6 山腹水路工	4		山腹明暗渠工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		深　さ h3	-30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	-200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
7 地下水排除工	4		集排水ボーリング工	全数	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	削 孔 深 さ ℓ	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						配 置 誤 差 d	100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						せん孔方向 θ	±2．5度	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

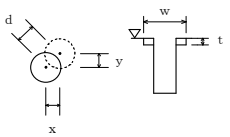
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【砂防編:斜面対策】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
7 地下水排除工	5		集水井工	全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	基準高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						偏心量 d	150	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						長　さ L	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						巻立て幅 w	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						巻立て厚さ t	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【砂防編:斜面対策】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
節	条	枝番													
9 抑止杭工	6		合成杭工	全数測定。		基 準 高 ▽	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						偏 心 量 d	D/4以内 かつ100以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

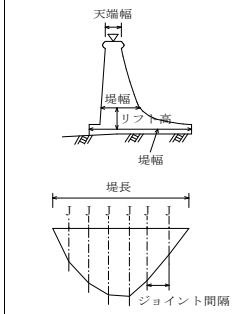
品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【ダム編：コンクリートダム】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
4 ダムコンクリート工			コンクリートダム工（本体）	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高（越流部堤頂高を含む）は、各ジョイントについて測定。 ②堤幅、リフト高は、各ジョイントについて5リフトごとに測定。 （注）堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接触部とする。（堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む） ③ジョイント間隔（横継目）は、5リフトごと上流端、下流端を対象に測定。 ④堤長は、天端中心線延長を測定。 3. ①越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の測定方法は、監督職員の指示による。 ②監査廊の敷高、幅、高さ、平坦性などの測定方法は監督職員の指示による。	 J：ジョイント	天 端 高 ▽	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						天 端 幅	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						ジョイント間隔	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						リ フ ト 高	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						堤　　幅	−30, +50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						堤　　長	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

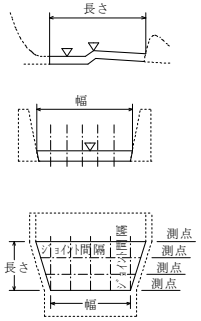
品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【ダム編：コンクリートダム】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
4 ダムコンクリート工			コンクリートダム工（水叩）	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高（敷高）、ジョイント間は各ジョイント、各測点の交点部を測定。 ②長さは、各ジョイントごとに測定。 ③幅は、各測点ごとに測定。 3. 水叩の平坦性の測定は監督職員の指示による。		天 端 高 ▽	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						ジョイント間隔	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						幅	±40	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						長　　さ	−100, +60	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

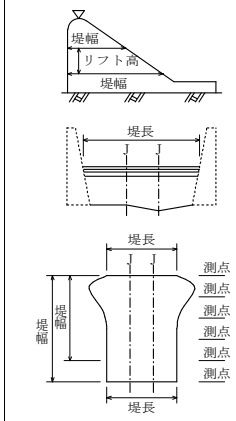
品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【ダム編：コンクリートダム】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
4 ダムコンクリート工			コンクリートダム工（副ダム）	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高は、各ジョイントごとに測定。 ②堤幅、リフト高は、各ジョイントについて3リフトごとに測定。 （注）堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接触部とする。（堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む） ③ジョイント間隔は、3リフトごと上流端、下流端を対象に測定。 ④堤長は、各測点ごとに測定。	 J：ジョイント	天端高 ▽	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						ジョイント間隔	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						リフト高	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						堤幅	−30, +50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						堤長	±40	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

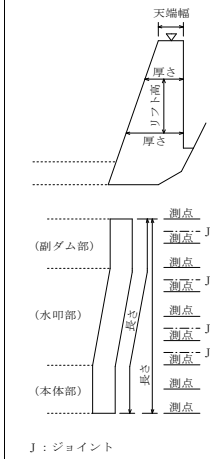
品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：	品質証明者	

【ダム編：コンクリートダム】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
4 ダムコンクリート工			コンクリートダム工（導流壁）	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高、天端幅は、各測点、又はジョイントごとに測定。 ②リフト高、厚さは、各測点、又はジョイントについて3リフトごとに測定。 （注）リフト高、厚さの測定は、前面、背面型枠設置後からとする。なお、リフト高、厚さの測定箇所は、前面背面型枠と水平打継目の接触部とする。 ③長さは、天端中心線の水平延長又は、測点に直角な水平延長を測定。		天 端 高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						ジョイント間隔	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						リ フ ト 高	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						長　　さ	±100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						厚　　さ	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

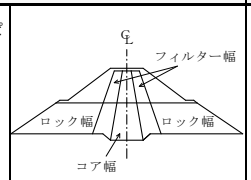
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【ダム編：フィルダム】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
3 盛立工	5		コアの盛立	各測点について5層毎に測定。 ※外側境界線は標準機種（タンピングローラ）の場合		基 準 高 ▽	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						外 側 境 界 線	−0, ＋500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	6		フィルターの盛立	各測点について5層毎に測定。		基 準 高 ▽	−0	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						外 側 境 界 線	−0, ＋1,000	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						盛 立 幅	−0, ＋1,000	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

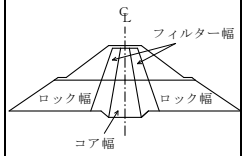
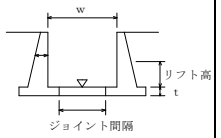
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【ダム編：フィルダム】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
3 盛立工	7		ロックの盛立	各測点について盛立5m毎に測定。		基 準 高 ▽	－100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						外 側 境 界 線	－0, ＋2,000	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
			フィルダム（洪水吐）	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 1回／1施工箇所		基 準 高 ▽	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						ジョイント間隔	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚　さ t	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　　w	±40	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

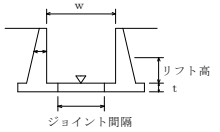
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【ダム編:フィルダム】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
3 盛立工	7			1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 1回／1施工箇所		リフト高さ	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						長　さ L	±100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【ダム編：基礎グラウチング】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 ボーリング工			ボーリング工	ボーリング工毎 ※配置位置の規定はコンクリート面で行うカーテングラウトに適用する。		深　度 L	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						配 置 誤 差	100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

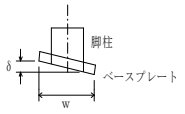
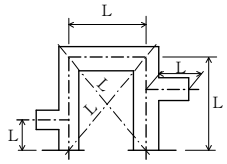
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所			測定項目	規格値	チェック内容							備考
3 工場製作工	3		鋼製橋脚製作工	各脚柱、ベースプレートを測定。		部材	脚柱とベースプレートの鉛直度 δ(mm)	w/500	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				全数を測定。			ベースプレートの孔の位置	±2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				全数を測定。			ベースプレートの孔の径d	0～5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				両端部及び片持ばり部を測定。		仮組立時	柱の中心間隔、対角長L(m)	±5…　L≦10m ±10…　10<L≦20m ±(10+(L−20)/10)…　20m<L	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

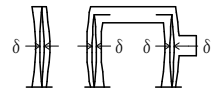
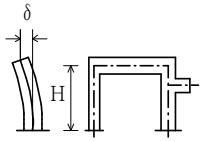
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
3 工場製作工	3		鋼製橋脚製作工	各主構の各格点を測定。	 側面図　正面図	仮組立時	はりのキャンバー及び柱の曲がり δ(mm)	L/1,000	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				各柱及び片持ばり部を測定。 H:高さ(m)	 側面図　正面図		柱の鉛直度 δ(mm)	10…H≦10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
								H…H＞10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

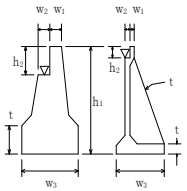
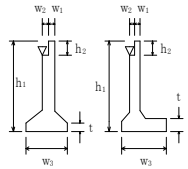
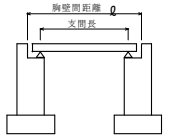
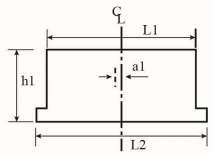
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
6 橋台工	8		橋台躯体工	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		基準高 ▽	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚　さ t	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						天端幅 w1 (橋軸方向)	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						天端幅 w2 (橋軸方向)	−10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
					中心線の変位 (a1:橋軸直角方向) (a2:橋軸方向) 	敷　幅 w3 (橋軸方向)	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

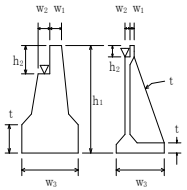
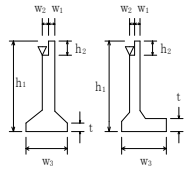
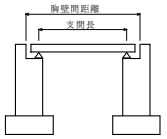
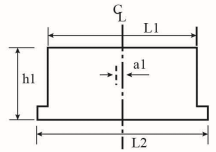
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
6 橋台工	8		橋台躯体工	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		高　さ h1	-50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						胸壁の高さ h2	-30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						天 端 長 ℓ1	-50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
					 中心線の変位 (a1:橋軸直角方向) (a2:橋軸方向)	敷　長 ℓ2	-50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						胸壁間距離 ℓ	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

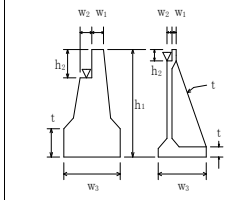
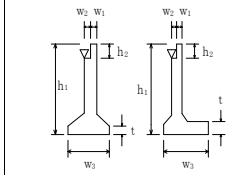
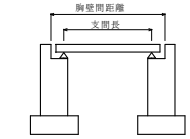
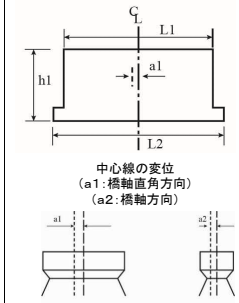
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
6 橋台工	8		橋台躯体工	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		支間長及び中心線の変位		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						支承部アンカーボルトの箱抜き規格	計画高	＋10～－20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							平面位置	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ孔の鉛直度	1/50以下	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

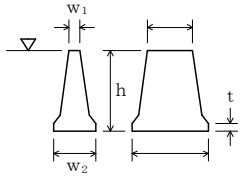
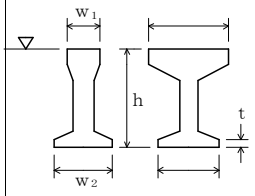
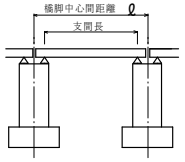
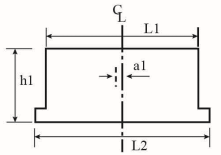
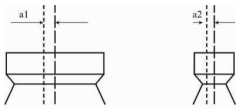
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
7 RC橋脚工	9	1	橋脚躯体工 (張出式) (重力式) (半重力式)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		基準高 ▽	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚　さ t	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						天端幅 w1 (橋軸方向)	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
					 中心線の変位 (a1:橋軸直角方向) (a2:橋軸方向)	敷　幅 w2 (橋軸方向)	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高　さ h	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

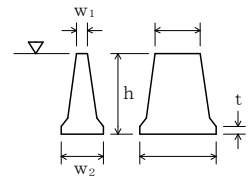
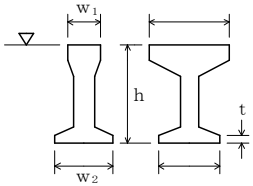
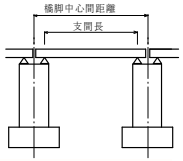
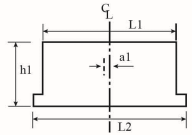
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
7 RC橋脚工	9	1	橋脚躯体工 (張出式) (重力式) (半重力式)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		天 端 長 ℓ1	-50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						敷　　長 ℓ2	-50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						橋脚中心間距離 ℓ	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						支 間 長 及 び 中 心 線 の 変 位	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

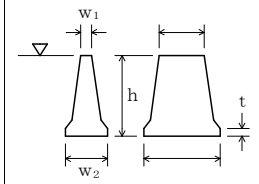
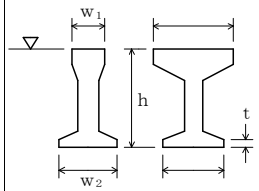
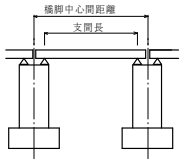
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
7 RC橋脚工	9	1	橋脚躯体工 (張出式) (重力式) (半重力式)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		支承部アンカーボルトの箱抜き規格値	計画高	＋10～－20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							平面位置	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ孔の鉛直度	1/50以下	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

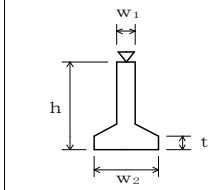
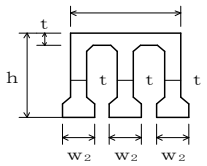
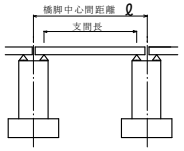
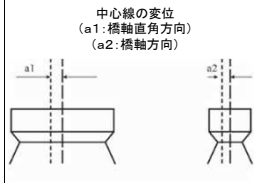
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
7 RC橋脚工	9	2	橋脚躯体工(ラーメン式)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		基準高 ▽	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚さ t	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						天端幅 w1	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						敷幅 w2	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高さ h	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

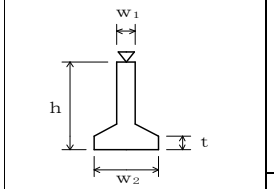
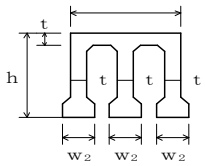
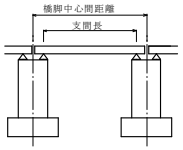
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
7 RC橋脚工	9	2	橋脚躯体工(ラーメン式)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		長　さ ℓ		-20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						橋脚中心間距離 ℓ		±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						支間長及び中心線の変位		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
					中心線の変位 (a1:橋軸直角方向) (a2:橋軸方向) 	支承部アンカーボルトの箱抜き規格値	計画高	＋10～－20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							平面位置	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

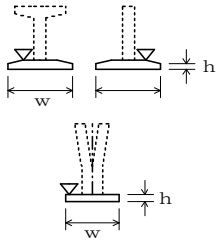
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
7 RC橋脚工	9	2	橋脚躯体工（ラーメン式）	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。		支承部アンカーボルトの箱抜き規格値	アンカーボルト孔の鉛直度	1/50以下	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
8 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工（I型・T型）	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		基準高 ▽		±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						幅 w（橋軸方向）		−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						高 さ h		−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

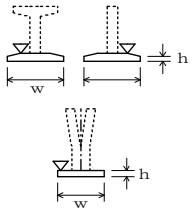
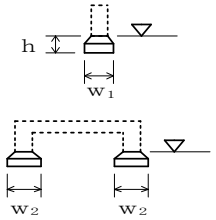
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
8 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工 (I型・T型)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		長　さ ℓ	-50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
		2	橋脚フーチング工(門型)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		基 準 高 ▽	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　w1, w2	-50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高　さ h	-50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

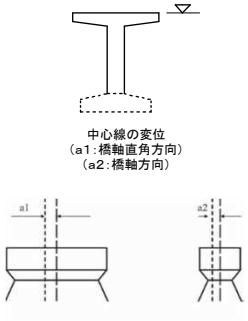
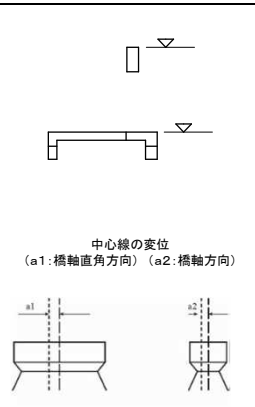
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
8 鋼製橋脚工	10	1	橋脚架設工 (I型・T型)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		基準高 ▽	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						橋脚中心間距離 ℓ	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						支間長及び中心線の変位	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
		2	橋脚架設工 (門型)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		基準高 ▽	±20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						橋脚中心間距離 ℓ	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

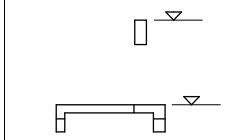
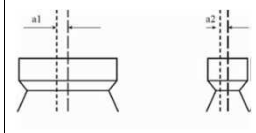
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:橋梁下部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
8 鋼製橋脚工	10	2	橋脚架設工(門型)	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		支間長及び中心線の変位	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
					中心線の変位 (a1:橋軸直角方向) (a2:橋軸方向) 										
	11		現場継手工	主桁、主構の全継手数の1／2を測定。 ※は耐候性鋼材(裸使用)の場合		現場継手部のすき間 δ_1, δ_2(mm)	5 ※±5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：鋼橋上部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
3 工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	図面の寸法表示箇所で測定。		部材	部材長ℓ（m）	±3…ℓ≦10 ±4…ℓ＞10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
5 鋼橋架設工	10	1	支承工（鋼製支承）	支承全数を測定。 B：支承中心間隔（m） 支承の平面寸法が300mm 以下の場合は、水平面の高低差を1mm 以下とする。なお、支承を勾配なりに据付ける場合を除く。 注1) 先固定の場合は、支承上面で測定する。 注2) 可動支承の遊間（La,Lb）を計測し、支承据付時のオフセット量δを考慮して、移動可能量が道路橋支承便覧の規格値を満たすことを確認する。 注3) 可動支承の移動量検査は、架設完了後に実施する。 詳細は、道路橋支承便覧参照。		据付け高さ 注1)		±5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						可動支承の移動可能量 注2)		設計移動量以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						支承中心間隔（橋軸直角方向）		コンクリート橋 ±5 鋼橋 ±（4＋0.5×（B-2））	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：鋼橋上部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
5 鋼橋架設工	10	1	支承工（鋼製支承）	支承全数を測定。 B：支承中心間隔（m） 支承の平面寸法が300mm 以下の場合は、水平面の高低差を1mm 以下とする。なお、支承を勾配なりに据付ける場合を除く。 注1）先固定の場合は、支承上面で測定する。 注2）可動支承の遊間（La,Lb）を計測し、支承据付時のオフセット量δを考慮して、移動可能量が道路橋支承便覧の規格値を満たすことを確認する。 注3）可動支承の移動量検査は、架設完了後に実施する。 詳細は、道路橋支承便覧参照。		下沓の水平度	橋軸方向	1／100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							橋軸直角方向	1／100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						可動支承の橋軸方向のずれ同一支承線上の相対誤差		5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						可動支承の機能確認注3）		温度変化に伴う移動量計算値の1/2以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：鋼橋上部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
5 鋼橋架設工	10	2	支承工（ゴム支承）	支承全数を測定。 B：支承中心間隔（m） 上部構造部材下面とゴム支承面との接触面及びゴム支承と台座モルタルとの接触面に肌すきが無いことを確認。 支承の平面寸法が300mm 以下の場合は、水平面の高低差を1mm 以下とする。なお、支承を勾配なりに据付ける場合を除く。 注1）先固定の場合は、支承上面で測定する。 注2）可動支承の遊間（La,Lb）を計測し、支承据付時のオフセット量δを考慮して、移動可能量が道路橋支承便覧の規格値を満たすことを確認する。 注3）可動支承の移動量検査は、架設完了後に実施する。 詳細は、道路橋支承便覧参照。		据付け高さ 注1）		±5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						可動支承の移動可能量　注2）		設計移動量以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						支承中心間隔 （橋軸直角方向）		コンクリート橋 ±5 鋼橋 ±（4＋0.5×（B−2））	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						支沓の水平度	橋軸方向	1／300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：鋼橋上部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
5 鋼橋架設工	10	2	支承工（ゴム支承）	支承全数を測定。 B：支承中心間隔（m） 上部構造部材下面とゴム支承面との接触面及びゴム支承と台座モルタルとの接触面に肌すきが無いことを確認。 支承の平面寸法が300mm 以下の場合は、水平面の高低差を1mm 以下とする。なお、支承を勾配なりに据付ける場合を除く。 注1）先固定の場合は、支承上面で測定する。 注2）可動支承の遊間（La,Lb）を計測し、支承据付時のオフセット量δを考慮して、移動可能量が道路橋支承便覧の規格値を満たすことを確認する。 注3）可動支承の移動量検査は、架設完了後に実施する。 詳細は、道路橋支承便覧参照。		支承の水平度	橋軸直角方向	1／300	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						可動支承の橋軸方向のずれ 同一支承線上の相対誤差		5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						可動支承の機能確認 注3）		温度変化に伴う移動量計算値の1/2以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
8 橋梁付属物工	3		落橋防止装置工	全数測定		アンカーボルト孔の削孔長		設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
				全数測定 D：アンカーボルト径（mm）		アンカーボルト定着長		－20以内 かつ －1D以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

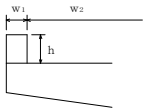
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：鋼橋上部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
8 橋梁付属物工	5		地覆工	1径間当たり両端と中央部の3箇所測定。		地覆の幅　w_1	−10～＋20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						地覆の高さ　h	−10～＋20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						有効幅員　w_2	0～＋30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

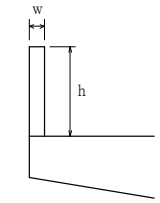
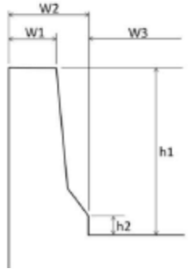
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：鋼橋上部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
節	条	枝番												
8 橋梁付属物工	6 7		橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	1径間当たり両端と中央部の3箇所測定。		天端幅　w1	−5～＋10	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						地覆の幅　w2	−10～+20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高さ　h1	−20～+30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高さ　h2	−10～+20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						有効幅員　W3	0～+30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:鋼橋上部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認			工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
節	条	枝番													
8 橋梁付属物工	8		検査路工	1ブロックを抽出して測定。		幅	±3	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高　　さ	±4	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

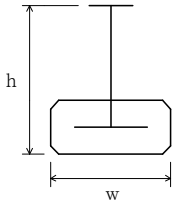
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：鋼橋上部】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
6 プレビーム桁橋工	2		プレビーム桁製作工（現場）	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 ℓ：スパン長		幅　　w	±5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高　さ h	10 -5	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						桁　長 ℓ スパン長	ℓ＜15･･･±10 ℓ≧15･･･ ±（ℓ－５） かつ－30mm以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						横方向最大タワミ	0.8ℓ	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

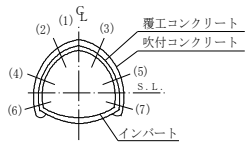
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：トンネル（NATM）】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
4 支保工	3		吹付工	施工延長40m毎に図に示す。 (1)～(7)及び断面変化点の検測孔を測定。 注）良好な岩盤とは、道路トンネル技術基準（構造編）にいう地盤等級A又はBに該当する地盤とする。		吹付け厚さ	設計吹付け厚以上。ただし、良好な岩盤で施工端部、突出部等の特殊な箇所は設計吹付け厚の1／3以上を確保するものとする。	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
								日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	4		ロックボルト工	施工延長40m毎に断面全本数検測		位置間隔	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						角度	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						削孔深さ	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

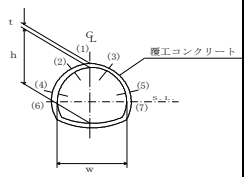
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：トンネル（NATM）】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
4 支保工	4		ロックボルト工	施工延長40m毎に断面全本数検測		孔　径	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						突　出　量	プレート下面から10cm以内	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
5 覆工	3		覆工コンクリート工	(1) 基準高、幅、高さは、施工40mにつき1箇所。 (2) 厚さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の終点を図に示す各点で測定。中間部はコンクリート打設口で測定。 (ロ) コンクリート打設後、覆工コンクリートについて1打設長の端面（施工継手の位置）において、図に示す各点の巻厚測定を行う。 (ハ) 検測孔による巻厚の測定は図の(1)は40mに1箇所、(2)～(3)は100mに1箇所の割合で行う。 なお、トンネル延長が100m以下のものについては、1トンネル当たり2箇所以上の検測孔による測定を行う。 ただし、以下の場合には、規格値は適用除外とする。 ・良好な地山における岩又は吹付コンクリートの部分的な突出で、設計覆工厚の3分の1以下のもの。 なお、変形が収束しているものに限る。 ・異常土圧による覆工厚不足で、型枠の据付け時には安定が確認されかつ別途構造的に覆工の安全が確認されている場合。 ・鋼アーチ支保工、ロックボルトの突出。 計測手法については、従来管理のほかに「3次元計測技術を用いた出来形計測要領（案）」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることが出来る。		基準高▽（拱頂）	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　w（全幅）	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						高さ h（内法）	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

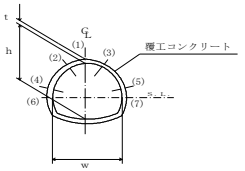
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：トンネル（NATM）】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所	測定項目	規格値	チェック内容						備考
5 覆工	3		覆工コンクリートエ	(1) 基準高、幅、高さは、施工40mにつき1箇所。 (2) 厚さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の終点を図に示す各点で測定。中間部はコンクリート打設口で測定。 (ロ) コンクリート打設後、覆工コンクリートについて1打設長の端面（施工継手の位置）において、図に示す各点の巻厚測定を行う。 (ハ) 検測孔による巻厚の測定は図の(1)は40mに1箇所、(2)～(3)は100mに1箇所の割合で行う。 なお、トンネル延長が100m以下のものについては、1トンネル当たり2箇所以上の検測孔による測定を行う。 ただし、以下の場合には、規格値は適用除外とする。 ・良好な地山における岩又は吹付コンクリートの部分的な突出で、設計覆工厚の3分の1以下のもの。 なお、変形が収束しているものに限る。 ・異常土圧による覆工厚不足で、型枠の据付け時には安定が確認されかつ別途構造的に覆工の安全が確認されている場合。 ・鋼アーチ支保工、ロックボルトの突出。 計測手法については、従来管理のほかに「3次元計測技術を用いた出来形計測要領（案）」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることが出来る。		厚さ t	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所						
							コメント						
					延　長 L	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
							確認箇所						
							コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

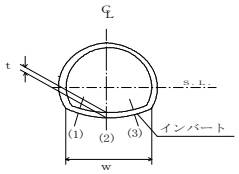
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：トンネル（NATM）】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
5 覆工	5		床版コンクリートエ	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		幅　　w	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚　さ t	−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
6 インバートエ	4		インバート本体工	(1) 幅は、施工40mにつき1箇所。 (2) 厚さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の中間と終点を図に示す各点で測定。 (ロ) コンクリート打設後、インバートコンクリートについて1打設長の端面（施工継手の位置）において、図に示す各点の巻厚測定を行う。		幅 w（全幅）	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚さ t	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						延　長 L	—	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

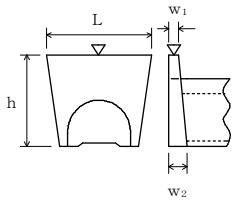
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:トンネル（NATM）】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値	チェック内容							備考
8 坑門工	4		坑門本体工	図面の主要寸法表示箇所で測定。		基準高 ▽		±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						幅 w1, w2		−30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						高さ h	h＜3m	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
							h≧3m	−100	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						延　長 L		−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

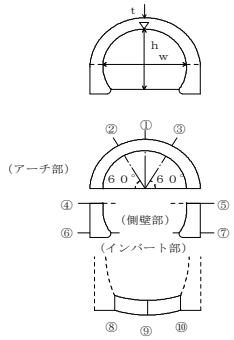
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：トンネル（NATM）】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
8 坑門工	5		明り巻工	基準高、幅、高さ、厚さは、施工延長40mにつき1箇所を測定。 なお、厚さについては図に示す各点①～⑩において、厚さの測定を行う。		基準高▽（拱頂）	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						幅 w（全幅）	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						高さh（内法）	−50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						厚　さ t	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						
						延　長 L	ー	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所						
								コメント						

品質証明チェックシート（出来形）

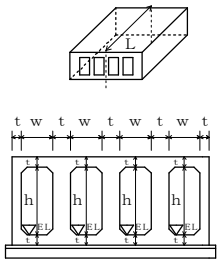
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：共同溝】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
6 現場打構築工	2		現場打躯体工	両端・施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所で測定。		基準高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚さ t	-20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						内空幅 w	-30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						内空高 h	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						ブロック長 L	-50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

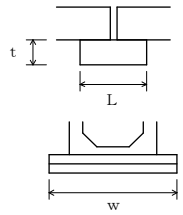
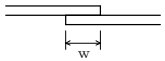
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:共同溝】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容						備考
6 現場打構築工	4		カラー継手工	図面の寸法表示箇所で測定。		厚　さ　t	-20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　　w	-20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						長　さ　L	-20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	5	1	防水工（防水）	両端・施工継手箇所の底版・側壁・頂版で測定。		幅　　w	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

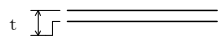
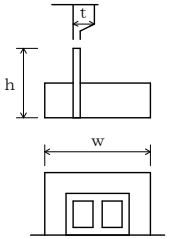
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:共同溝】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
6 現場打構築工	5	2	防水工（防水保護工）	両端・施工継手箇所の「四隅」で測定。		厚　さ　t	設計値以上	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
		3	防水工（防水壁）	図面の寸法表示箇所で測定。		高　さ h	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						幅　　w	±50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						厚　さ　t	−20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

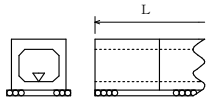
（期間:　年　月　日～　年　月　日）

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:共同溝】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
7 プレキャスト構築工	2		プレキャスト躯体工	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。ただし、基準高の適用は据付後の段階検査時のみ適用する。		基 準 高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				延長:1施工箇所毎		延　長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

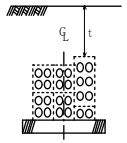
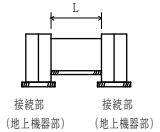
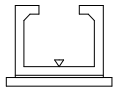
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:電線共同溝】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
5 電線共同溝工	2		管路工 (管路部)	接続部(地上機器部)間毎に1箇所。		埋設深 t	0～+50	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
				接続部(地上機器部)間毎に全数。 【管路センターで測定】		延長 L	−200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
	3		プレキャストボックス工 (特殊部)	接続部(地上機器部)間毎に1箇所。		基 準 高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

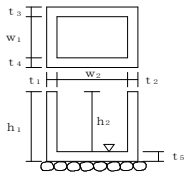
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:電線共同溝】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値	チェック内容							備考
6 付帯設備工	2		ハンドホール工	1箇所毎 ※は現場打部分のある場合		基 準 高 ▽	±30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						※厚さ　t1～t5	-20	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						※幅　w1, w2	-30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							
						※高さ　h1, h2	-30	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
								確認箇所							
								コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

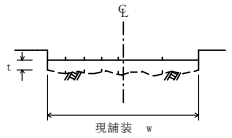
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:道路維持】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X)	規格値 測定値の平均(X)	チェック内容							備考
4 舗装工	5	1	切削オーバーレイエ	厚さは40m毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長80m毎に1箇所の割とし、延長40m未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。		厚　さ t (切削)	−7	−2	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
					維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	厚　さ t (オーバーレイ)	−9		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						幅　w	−25		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						延　長 L	−100		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						平 坦 性	—	3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ (σ)2.4mm以下 直読式 (足付き) (σ)1.75mm以下	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート(出来形)

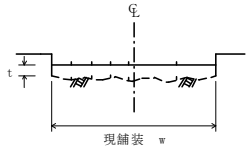
(期間:　年　月　日～　年　月　日)

工事名:	対象箇所:

品質証明者	

【道路編:道路維持】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位:mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目	規格値 個々の測定値(X)	規格値 測定値の平均(X)	チェック内容							備考
4 舗装工	5	2	切削オーバーレイエ(面管理の場合) 厚さ t または標高較差(切削)のみ	1. 施工履歴データを用いた出来形管理要領(案)(路面切削工編)に基づき出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 計測は切削面の全面とし、すべての点で設計面との厚さt または標高較差(切削)を算出する。計測密度は1点/m2(平面投影面積当たり)以上とする。 3. 厚さtまたは標高較差(切削)は、現舗装高と切削後の基準高との差で算出する。 4. 厚さ(ｵｰﾊﾞｰﾚｲ)は40m 毎に「切削後の基準高とオーバーレイ後の基準高の差」で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 5. 幅は、延長80m毎に1 ヶ所の割とし、延長80m未満の場合は、2ヶ所／施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。	 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	厚 さ t (標高較差)(切削)	−17 (17) (面管理として緩和)	−2 (2)	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						厚 さ t (オーバーレイ)	−9		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						幅 w	−25		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						延 長 L	−100		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							
						平 坦 性	—	3mﾌﾟﾛﾌｨﾙﾒｰﾀｰ(σ)2.4mm以下 直読式 (足付き) (σ)1.75mm以下	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所							
									コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

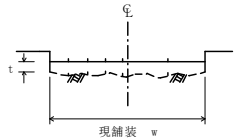
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：道路維持】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準・測定箇所		測定項目		規格値 個々の測定値（X）	規格値 測定値の平均（X）	チェック内容							備考
4 舗装工	7		路上再生工	幅は延長80m毎に1箇所の割で測定。 厚さは、各車線200m毎に左右両端及び中央の3点を掘り起こして測定。		路盤工	厚さ t	−30		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
							幅 w	−50		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							
							延長 L	−100		日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
										確認箇所							
										コメント							

品質証明チェックシート（出来形）

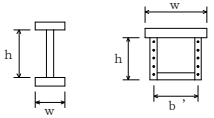
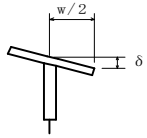
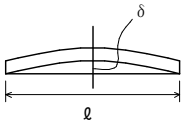
（期間：　年　月　日～　年　月　日）

工事名：	対象箇所：

品質証明者	

【道路編：道路修繕】 施工途中での出来形部分が規格値を満たしているか確認する。

単位：mm

寸法確認 節	寸法確認 条	寸法確認 枝番	工種	測定基準 鋼桁等	測定基準 トラス・アーチ等	測定箇所	測定項目	規格値	チェック内容						備考
3 工場製作工	4		桁補強材製作工	主桁・主構	各支点及び各支間中央付近を測定。		フランジ幅w（m） 腹板高 h（m） 腹板間隔b'（m）	±2…　w≦0.5 ±3…0.5＜w≦1.0 ±4…1.0＜w≦2.0 ±（3＋w／2）…　2.0＜w	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
				床組など	構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。										
				主桁	各支点及び各支間中央付近を測定。		フランジの直角度 δ（mm）	w／200	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						
				—	主要部材全数を測定。 ℓ：部材長（mm）		圧縮材の曲がり δ（mm）	ℓ／1,000	日付・チェック	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	／ □	
									確認箇所						
									コメント						